

10/751,739

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出 願 年 月 日                      2 0 0 4 年    2 月 1 6 日  
Date of Application:

出 願 番 号                      特 願 2 0 0 4 - 0 3 8 5 4 0  
Application Number:

[ST. 10/C] :                      [ J P 2 0 0 4 - 0 3 8 5 4 0 ]

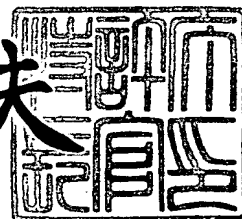
願                      人                      株式会社リコー  
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 4 年    2 月 2 7 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号    出証特 2 0 0 4 - 3 0 1 4 5 6 2

【書類名】 特許願  
【整理番号】 0401106  
【提出日】 平成16年 2月16日  
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿  
【国際特許分類】 G06F 13/00 351  
【発明者】  
    【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内  
    【氏名】 今郷 詔  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000006747  
    【氏名又は名称】 株式会社リコー  
【代理人】  
    【識別番号】 100070150  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 伊東 忠彦  
【先の出願に基づく優先権主張】  
    【出願番号】 特願2003- 44589  
    【出願日】 平成15年 2月21日  
【先の出願に基づく優先権主張】  
    【出願番号】 特願2003- 44590  
    【出願日】 平成15年 2月21日  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 002989  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 9911477

**【書類名】特許請求の範囲****【請求項 1】**

ユーザが利用するサービスを提供するサービス提供手段を有するサービス提供装置であって、

前記サービス提供手段は、ユーザ端末装置からのリクエストに応じて、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を提供するサービス情報提供手段を有することを特徴とするサービス提供装置。

**【請求項 2】**

前記サービス情報提供手段は、前記サービスに係る情報を格納するサービス情報格納手段より前記サービスに係る情報を取得するサービス情報取得手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供装置。

**【請求項 3】**

前記リクエストには、前記サービスに係る検索条件が含まれ、

前記サービス情報提供手段は、該検索条件に基づいて、前記サービス情報取得手段において取得した前記サービスに係る情報が、前記リクエストにおいて要求されている前記サービスに係る情報かどうかを判定する判定手段を更に有することを特徴とする請求項 2 記載のサービス提供装置。

**【請求項 4】**

前記リクエストには、前記サービスに係る検索条件が含まれ、

前記サービス情報提供手段は、該検索条件に基づいて、前記サービスに係る情報を格納するサービス情報格納手段より前記サービスに係る情報を検索する検索手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供装置。

**【請求項 5】**

前記サービス情報提供手段は、前記ユーザ端末装置からのリクエストを解析するリクエスト解析手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 何れか一項記載のサービス提供装置。

**【請求項 6】**

前記サービス情報提供手段は、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを作成するレスポンス作成手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 何れか一項記載のサービス提供装置。

**【請求項 7】**

前記サービスに係る情報を格納するサービス情報格納手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 何れか一項記載のサービス提供装置。

**【請求項 8】**

前記サービス情報格納手段に格納されている前記サービスに係る情報は、2 つ以上の言語で記述され、

前記リクエストには、該リクエストに対応するレスポンスに含まれる前記サービスに係る情報の言語を指定する言語指定情報が含まれることを特徴とする請求項 7 記載のサービス提供装置。

**【請求項 9】**

前記リクエストに対応するレスポンスには、前記サービスに係る情報として、

前記サービスの名前、

前記サービスを提供する装置の名前、

前記サービスの種類、

前記サービスに係るアイコン情報、

の内、少なくとも 1 つ以上が含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 8 何れか一項記載のサービス提供装置。

**【請求項 10】**

前記サービス提供装置は、画像を形成する画像形成装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 9 何れか一項記載のサービス提供装置。

**【請求項 11】**

サービス提供手段が提供するサービスを利用するユーザが使用するユーザ端末装置であって、

前記サービスに係る検索条件を含むリクエストを作成するリクエスト作成手段と、

前記リクエストに応じた、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを受信するレスポンス受信手段と、  
を有することを特徴とするユーザ端末装置。

**【請求項 12】**

前記レスポンス受信手段において受信した前記レスポンスに基づいて、前記サービスに係る情報を含む画面を生成する画面生成手段を更に有することを特徴とする請求項 11 記載のユーザ端末装置。

**【請求項 13】**

ユーザが利用するサービスを提供するサービス提供手段におけるサービス提供方法であって、

ユーザ端末装置からのリクエストに応じて、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を提供するサービス情報提供段階を有することを特徴とするサービス提供方法。

**【請求項 14】**

前記サービスに係る情報を格納するサービス情報格納手段より前記サービスに係る情報を取得するサービス情報取得段階を更に有することを特徴とする請求項 13 記載のサービス提供方法。

**【請求項 15】**

前記リクエストには、前記サービスに係る検索条件が含まれ、該検索条件に基づいて、前記サービス情報取得段階において取得した前記サービスに係る情報が、前記リクエストにおいて要求されている前記サービスに係る情報かどうかを判定する判定段階を更に有することを特徴とする請求項 14 記載のサービス提供方法。

**【請求項 16】**

前記リクエストには、前記サービスに係る検索条件が含まれ、該検索条件に基づいて、前記サービスに係る情報を格納するサービス情報格納手段より前記サービスに係る情報を検索する検索段階を更に有することを特徴とする請求項 13 記載のサービス提供方法。

**【請求項 17】**

前記ユーザ端末装置からのリクエストを解析するリクエスト解析段階を更に有することを特徴とする請求項 13 乃至 16 何れか一項記載のサービス提供方法。

**【請求項 18】**

前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを作成するレスポンス作成段階を更に有することを特徴とする請求項 13 乃至 17 何れか一項記載のサービス提供方法。

**【請求項 19】**

前記リクエストには、該リクエストに対応するレスポンスに含まれる前記サービスに係る情報の言語を指定する言語指定情報が含まれることを特徴とする請求項 13 乃至 18 何れか一項記載のサービス提供方法。

**【請求項 20】**

前記リクエストに対応するレスポンスには、前記サービスに係る情報として、  
前記サービスの名前、  
前記サービスを提供する装置の名前、  
前記サービスの種類、  
前記サービスに係るアイコン情報、  
の内、少なくとも 1 つ以上が含まれることを特徴とする請求項 13 乃至 19 何れか一項記載のサービス提供方法。

**【請求項 21】**

サービス提供手段が提供するサービスを利用するサービス利用方法であって、  
前記サービスに係る検索条件を含むリクエストを作成するリクエスト作成段階と、  
前記リクエストに応じた、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを受信するレスポンス受信段階と、  
を有することを特徴とするサービス利用方法。

【請求項 2 2】

前記レスポンス受信段階において受信した前記レスポンスに基づいて、前記サービスに係る情報を含む画面を生成する画面生成段階を更に有することを特徴とする請求項 2 1 記載のサービス利用方法。

【請求項 2 3】

請求項 1 3 乃至 2 0 何れか一項記載のサービス提供方法をコンピュータに実行させるためのサービス提供プログラム。

【請求項 2 4】

請求項 2 1 又は 2 2 記載のサービス利用方法をコンピュータに実行させるためのサービス利用プログラム。

【請求項 2 5】

請求項 2 3 記載のサービス提供プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 6】

請求項 2 4 記載のサービス利用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

**【書類名】明細書**

**【発明の名称】** サービス提供装置、ユーザ端末装置、サービス提供方法、サービス利用方法、サービス提供プログラム、サービス利用プログラム及び記録媒体

**【技術分野】****【0001】**

本発明は、サービス提供装置、ユーザ端末装置、サービス提供方法、サービス利用方法、サービス提供プログラム、サービス利用プログラム及び記録媒体に関する。

**【背景技術】****【0002】**

従来より、ネットワークに接続された各機器が提供するサービスを発見するためのサービス発見方式が知られている（例えば、特許文献1参照）。

**【特許文献1】** 特開2000-209231号公報

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

しかしながら、上記従来の方法では、サービスを発見したとしてもユーザがサービスを選択する場合に必要な情報が含まれていない問題があった。

**【0004】**

図1は、従来技術の問題点を説明するための図（その1）である。図1のクライアントと各サーバとはネットワークを介して接続されている。

**【0005】**

ステップS1において、クライアントは、サービスAを発見するのに、サーバAとサーバBとサーバCとにマルチキャストでサービスAの検索リクエストを送信する。

**【0006】**

ステップS1に続いてステップS2に進み、サービスAを有するサーバA及びサービスAを有するサーバBは、サービスAが存在する旨の検索レスポンスをクライアントに送信する。

**【0007】**

クライアントは、前記検索レスポンスを取得することにより、サービスAを発見することができる。しかしながら、前記検索レスポンスには、クライアントのユーザが、サービスAを選択する場合に必要な情報が含まれていない問題があった。

**【0008】**

例えば、サービスAがプリントサービスで、前記ユーザが、カラーでプリントをしたい場合であっても、前記検索レスポンスには、前記プリントサービスの詳細情報は含まれていないため、前記ユーザはどちらのプリントサービスがカラーに対応したプリントサービスかを判断できなかった。

**【0009】**

実際、図1に示される従来例では、ステップS2に続いてステップS3に進み、クライアントは、それぞれが提供しているサービスAの詳細情報の取得リクエストをサーバAとサーバBとに対して送信する。

**【0010】**

ステップS3に続いてステップS4に進み、サーバAとサーバBとはそれぞれが提供しているサービスAの詳細情報を含む、前記取得リクエストに対する取得レスポンスをクライアントに送信する。

**【0011】**

クライアントは、前記取得レスポンスを取得することにより、初めて、サービスAの詳細情報を取得し、前記ユーザは、サーバAが提供するサービスAか又はサーバBが提供するサービスAかを選択して利用することができる。

**【0012】**

以上、図1では、クライアントがサービスAを発見するのに、サーバAとサーバBとサ

サーバCとにマルチキャストでサービスAの検索リクエストを送信する方法について説明したが、サービスAを発見する他の方法として、クライアントが、サーバが提供するサービスの一覧の取得リクエストを各サーバごとに送信する方法もある。

【0013】

図2は、従来技術の問題点を説明するための図（その2）である。図2のクライアントと各サーバとはネットワークを介して接続されている。

【0014】

ステップS5において、クライアントは、サービスAを発見するのに、サーバAとサーバBとサーバCとにサービスの一覧の取得リクエストを送信する。

【0015】

ステップS5に続いてステップS6に進み、サーバAとサーバBとサーバCとは、それぞれが提供するサービスの一覧を生成し、該サービス一覧を含む取得レスポンスをクライアントに送信する。

【0016】

クライアントは、前記サービス一覧を含む取得レスポンスを各サーバから取得することにより、サービスAを発見することができる。

【0017】

しかしながら、上述した方法と同様、前記サービス一覧を含む取得レスポンスには、クライアントのユーザが、サービスAを選択する場合に必要な情報が含まれていない問題があった。

【0018】

実際、図2に示される従来例では、ステップS6に続いてステップS7に進み、クライアントは、それぞれが提供しているサービスAの詳細情報の取得リクエストをサーバAとサーバBとに対して送信する。

【0019】

ステップS7に続いてステップS8に進み、サーバAとサーバBとはそれぞれが提供しているサービスAの詳細情報を含む、前記取得リクエストに対する取得レスポンスをクライアントに送信する。

【0020】

上述したように、クライアントは、前記取得レスポンスを取得することにより、初めて、サービスAの詳細情報を取得し、前記ユーザは、サーバAが提供するサービスAか又はサーバBが提供するサービスAかを選択して利用することができる。

【0021】

本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、ユーザがサービスを選択する場合に必要な情報を速やかに提供することを目的とする。

【0022】

また、本発明は、ユーザがサービスを選択する場合に必要な情報を速やかに取得することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0023】

そこで、上記問題を解決するため、本発明は、ユーザが利用するサービスを提供するサービス提供手段を有するサービス提供装置であって、前記サービス提供手段は、ユーザ端末装置からのリクエストに応じて、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を提供するサービス情報提供手段を有することを特徴とする。

【0024】

本発明によれば、ユーザが利用するサービスを提供するサービス提供手段を有するサービス提供装置であって、前記サービス提供手段は、ユーザ端末装置からのリクエストに応じて、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を提供するサービス情報提供手段を有することによって、ユーザがサービスを選択する場合に必要な情報を速やかにユーザ端末に提供することができる。

**【0025】**

また、本発明は、サービス提供手段が提供するサービスを利用するユーザが使用するユーザ端末装置であって、前記サービスに係る検索条件を含むリクエストを作成するリクエスト作成手段と、前記リクエストに応じた、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを受信するレスポンス受信手段と、を有することを特徴とする。

**【0026】**

本発明によれば、サービス提供手段が提供するサービスを利用するユーザが使用するユーザ端末装置であって、前記サービスに係る検索条件を含むリクエストを作成するリクエスト作成手段と、前記リクエストに応じた、前記ユーザが前記サービスを選択する場合に利用する前記サービスに係る情報を含むレスポンスを受信するレスポンス受信手段と、を有することによって、速やかにユーザがサービスを選択する場合に必要とする情報を取得することができる。

**【0027】**

また、上記課題を解決するための手段として、サービス提供方法、サービス利用方法、サービス提供プログラム、サービス利用プログラム及び記録媒体としてもよい。

**【発明の効果】****【0028】**

本発明によれば、ユーザがサービスを選択する場合に必要とする情報を速やかに提供することができる。

**【0029】**

また、本発明によれば、ユーザがサービスを選択する場合に必要とする情報を速やかに取得することができる。

**【発明を実施するための最良の形態】****【0030】**

以下、本発明の実施の形態について図面に基づいて説明する。

(第一実施例のシステム構成図)

図3は、本発明を実施するシステム構成の一例を説明するためのシステム構成図である。図3では説明に必要な構成を表し、説明に必要な無い構成を省略してある。以下の図においても同様である。

**【0031】**

図3に示されるように、本システムはサービス情報提供サーバ10と、クライアント20と、画像形成装置1200とがネットワーク5を介して接続されている。

**【0032】**

クライアント20は、Webサービスを検索する検索条件を含んだリクエストを生成し、該生成したリクエストをサービス情報提供サーバ10に送信する。

**【0033】**

一方、サービス情報提供サーバ10は、前記ユーザが利用するWebサービスを提供するWebサービス提供サービス41を有し、該Webサービス提供サービス41は、サービス情報提供部を有する。

**【0034】**

サービス情報提供部は、前記リクエストに基づいて、Webサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報を提供する。

**【0035】**

クライアント20は、前記レスポンスを受信し、解析して、前記Webサービスに係る情報を表示内容とする画面を生成し、ディスプレイに表示する。

**【0036】**

また、クライアント20は、サービス情報提供サーバ10が提供するWebサービスに係る情報の一覧を取得する旨のリクエストを生成し、該生成したリクエストをサービス情報提供サーバ10に送信する。



**【0037】**

一方、前記サービス情報提供部は、前記リクエストに基づいて、Webサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報を提供する。

**【0038】**

なお、画像形成装置1200は、Webサービス提供サービス41が提供するサービスに要するハードウェア機能を有する装置の一例である。

(第二実施例のシステム構成図)

図4は、本発明を実施するシステム構成の他の例を説明するためのシステム構成図である。

**【0039】**

図4に示すシステム構成では、クライアント20と、画像形成装置1200とがネットワーク5を介して接続されている。

**【0040】**

図4のシステム構成は、図3のシステム構成と比べて、画像形成装置1200が、Webサービス提供サービス41を有する構成となっている。

**【0041】**

図4に示されるWebサービス提供サービス41は、上述したように、サービス情報提供部を有し、該サービス情報提供部は、クライアント20からのリクエストを解析して、Webサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報を含むレスポンスを生成する。

(第一実施例の説明)

以下、サービス情報提供サーバ10の機能構成図を、図5を用いて説明する。

**【0042】**

図5は、サービス情報提供サーバの一例の機能構成図である。

**【0043】**

サービス情報提供サーバ10は、図5に示すように、Webサーバ40と、Webサービス提供サービス41とを含む。なお、ここで、Webサーバ40は、自身が有するデータや機能を提供するソフトウェアのことであり、サービス情報提供サーバ10は、自身が有するデータや機能を提供するコンピュータのことである。

**【0044】**

Webサーバ40は、ネットワーク5を介して接続されるクライアント20とのデータ通信をHTTP(Hypertext Transfer Protocol)で制御し、HTTPリクエストヘッダで指定されるWebサービスに対応するWebサービス提供サービス41を呼び出し、該Webサービス提供サービス41の処理結果をHTTPレスポンスなどで、クライアント20に送信する。なお、図5に示されるWebサーバ40は、後述する融合機1200に含まれるWebサーバ500と同様の構成を有するようにしてもよい。

**【0045】**

一方、Webサービスを提供するWebサービス提供サービス41としてサービス提供サーバ10は、例えば、プリントに係るWebサービスを提供するプリントサービス提供サービス42と、リポジトリに係るWebサービスを提供するリポジトリサービス提供サービス43と、を有する。

**【0046】**

これらのWebサービス提供サービス41はそれぞれが、後述するサービス情報提供部50を有する。

**【0047】**

サービス情報提供部50は、後述するように、Webサーバ40より取得したリクエストに基づいて、該リクエストに対応する、それぞれのWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報を提供する。サービス情報提供部50は、生成したレスポンスをWebサーバ40に返す。

**【0048】**

なお、サービス情報提供部50は、それぞれのWebサービス提供サービス41にサービス情報提供部50に対応するプログラムを実装させる形で実現される。

**【0049】**

図6は、サービス情報提供サーバの一例のハードウェア構成図である。

**【0050】**

図6に示されるサービス情報提供サーバ10のハードウェア構成は、それぞれバスBで相互に接続されているドライブ装置31と、ROM (Read Only Memory) 33と、RAM (Random Access Memory) 34と、CPU (Central Processing Unit) 35と、インターフェース装置36と、HDD (Hard Disk Drive) 37とから構成されている。

**【0051】**

インターフェース装置36は、サービス情報提供サーバ10をネットワーク5に接続するインターフェースである。

**【0052】**

サービス情報提供部50を実装されたプリントサービス提供サービス42やリポジトリサービス提供サービス43に対応するプログラムや、サービス情報提供サーバ10の全体の処理を制御するメインプログラムなどは、例えば、CD-ROMなどの記録媒体32によってサービス情報提供サーバ10に提供されるか、ネットワーク5を通じてダウンロードされる。記録媒体32は、ドライブ装置31にセットされ、前記プログラムや前記メインプログラムなどが記録媒体32からドライブ装置31を介してHDD37にインストールされる。

**【0053】**

ROM33は、データなどを格納する。RAM34は、サービス情報提供サーバ10の起動時にHDD37から前記プログラムや前記メインプログラムなどを読み出して格納する。CPU35は、RAM34に読み出され格納された前記プログラムや前記メインプログラムなどに従って処理を実行する。

**【0054】**

図7は、サービス情報提供部の機能の一例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。

**【0055】**

サービス情報提供部50は、リクエスト解析部51と、レスポンス生成部52と、サービス情報管理部53と、サービス情報判定部54とを含む。

**【0056】**

リクエスト解析部51は、Webサーバ40より取得したクライアント20からのリクエストの内容を解析し、例えばリクエストに含まれる情報を保持する。なお、リクエストの詳細は、後述する図13や、図15を用いて説明する。

**【0057】**

サービス情報管理部53は、サービス情報格納部55に格納されているWebサービスに係る情報を管理する。例えば、サービス情報管理部53は、クライアント20からのリクエストに含まれる検索条件に基づいて、サービス情報格納部55を検索したり、検索条件に合うWebサービスに係る情報をサービス情報格納部55より取得したり、サービス情報格納部55に格納されている前記Webサービスに係る情報を更新したりする。

**【0058】**

サービス情報判定部54は、例えばサービス情報管理部53が行った検索結果に基づいて、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスが、リクエストにおいて要求されているWebサービスか否かを判定する。

**【0059】**

サービス情報格納部55は、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサー

サービス提供サービス 41 が提供する Web サービスに係る情報を格納する。なお、サービス情報格納部 55 に格納されている情報の詳細は、後述する図 9 から図 12 を用いて説明する。

#### 【0060】

なお、サービス情報格納部 55 は、各 Web サービス提供サービス 41 に実装されているサービス情報提供部 50 ごとに有する構成とせず、1つのサービス情報格納部 55 を、各 Web サービス提供サービス 41 に実装されているサービス情報提供部 50 が共有する構成としてもよい。

#### 【0061】

レスポンス生成部 52 は、サービス情報管理部 53 がサービス情報格納部 55 より取得した前記 Web サービスに係る情報を含むレスポンスを生成する。なお、レスポンスの詳細は、後述する図 14、図 16、図 17、図 18 を用いて説明する。

#### 【0062】

以下、サービス情報提供部 50 の機能構成の他の例を、図 8 を用いて説明する。図 8 は、サービス情報提供部の機能の他の例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。

#### 【0063】

図 8 に示されるサービス情報提供部 50 の機能構成は、図 7 に示したサービス情報提供部 50 の機能構成と比べて、リクエスト解析部 51 と、レスポンス生成部 52 と、がサービス情報提供部 50 には含まれず、Web サーバ 40 に含まれる構成となっている。

#### 【0064】

図 8 に示されるような構成の場合、例えばリクエストに含まれる情報は、サービス情報管理部 53 に渡され、サービス情報管理部 53 において管理される。

#### 【0065】

図 8 に示される構成とすることによって、例えば、サービス提供サーバ 10 に複数の Web サービス提供サービス 41 が存在し、各 Web サービス提供サービス 41 ごとにサービス情報提供部 50 が実装されている場合であっても、複数のサービス情報提供部 50 において、リクエスト解析部 51 と、レスポンス生成部 52 と、を共有し、使用することができる。

#### 【0066】

なお、以下では説明の簡略化のため、特に言及しない限り、サービス情報提供部 50 は、図 7 に示されるような機能構成をしているものとして説明を行う。但しこのことは本発明の実施を制限するものではない。

#### 【0067】

図 9 は、サービス情報格納部を説明するための図（その 1）である。

#### 【0068】

図 9 に示すように、サービス情報格納部 55 は、Name と、Display Name と、Access port と、Access Uri と、Type と、Machine Name とを項目として含む。

#### 【0069】

Name には、当該サービス情報提供部 50 が実装されている Web サービス提供サービス 41 が提供する Web サービスの名前が格納されている。

#### 【0070】

Display Name には、前記 Web サービスの表示用の名前が英語で格納されている。

#### 【0071】

Access Port には、前記 Web サービスのエンドポイント（SOAP リクエストの POST 先）のポート番号が格納されている。

#### 【0072】

Access Uri には、前記 Web サービスのエンドポイント（SOAP リクエス

トのPOST先)のリクエストURI (HTTP URLのホスト記述部より後の部分)が格納されている。

#### 【0073】

Typeには、前記Webサービスの実装タイプが格納されている。例えば、該実装タイプは、サービスの名前空間が同一であったとしても、実装や目的、性能、セキュリティ、利用料金などが異なる複数のサービスが同一ホストに存在する場合に、それぞれのサービスを区別するために用いられる。

#### 【0074】

Machine Nameには、前記Webサービスを提供する装置の名前が英語で格納されている。

#### 【0075】

なお、1つのサービス情報格納部55を、各Webサービス提供サービス41に実装されているサービス情報提供部50が共有する構成とする場合は、上述した各項目に各Webサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報が格納される。

#### 【0076】

サービス情報提供部50は、後述するクライアント20からのリクエストに対して、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスの表示用の名前や、前記Webサービスの実装タイプ、前記Webサービスを提供する装置の名前などを含むレスポンスを生成する。

#### 【0077】

なお、クライアント20からのリクエストの一例は、後述する図13を用いて説明する。また、クライアント20へのレスポンスの一例は、後述する図14を用いて説明する。

#### 【0078】

クライアント20は、前記Webサービスの表示用の名前や、前記Webサービスの実装タイプ、前記Webサービスを提供する装置の名前などを含むレスポンスを取得することにより、サービスの検索を一度行うだけで、クライアント20を操作するユーザが前記Webサービスを選択する場合に必要な前記Webサービスの表示用の名前や、前記Webサービスを提供する装置の名前を表示内容とする画面を生成し、前記ユーザに提供することができる。

#### 【0079】

図10は、サービス情報格納部を説明するための図(その2)である。

#### 【0080】

図10に示すように、サービス情報格納部55は、Nameと、Display Nameと、Display Name jaと、Access portと、Access Uriと、Typeと、Machine Nameと、Machine Name jaとを項目として含む。

#### 【0081】

図10に示すサービス情報格納部55は、図9に示すサービス情報格納部55と比較して、Display Name jaと、Machine Name jaとの項目が新たに追加されている。

#### 【0082】

Display Name jaには、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスの表示用の名前が日本語で格納されている。

#### 【0083】

また、Machine Name jaには、前記Webサービスを提供する装置の名前が日本語で格納されている。

#### 【0084】

サービス情報提供部50は、後述する図15において説明するように、クライアント20からのリクエストにおいて、レスポンスに含むWebサービスに係る情報の言語を日本

語と指定されると、日本語で記述されたWebサービスの表示用の名前やWebサービスを提供する装置の名前などを含むレスポンスを生成する。

【0085】

なお、言語を指定するリクエストの一例は後述する図15を用いて説明する。また、日本語を含むレスポンスの一例は後述する図16を用いて説明する。

【0086】

クライアント20は、日本語で記述された前記Webサービスの表示用の名前や、前記Webサービスを提供する装置の名前などを含むレスポンスを取得することにより、サービスの検索を一度行うだけで、クライアント20を操作するユーザが前記Webサービスを選択する場合に必要とする、日本語で記述された前記Webサービスの表示用の名前や、前記Webサービスを提供する装置の名前を表示内容とする画面を生成し、前記ユーザに提供することができる。

【0087】

図11は、サービス情報格納部を説明するための図（その3）である。

【0088】

図11に示すように、サービス情報格納部55は、Nameと、Display Nameと、Display Name jaと、Access portと、Access Uriと、Typeと、Machine Nameと、Machine Name jaと、Iconとを項目として含む。

【0089】

図11に示すサービス情報格納部55は、図10に示すサービス情報格納部55と比較して、Iconの項目が新たに追加されている。

【0090】

Iconには、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係るアイコンの情報が格納されている。

【0091】

サービス情報提供部50は、後述するクライアント20からのリクエストに対して、図11に示されるサービス情報格納部55に格納されている、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係るアイコンの情報を含むレスポンスを生成する。

【0092】

アイコンの情報を含むレスポンスの一例は後述する図17を用いて説明する。

【0093】

クライアント20は、前記Webサービスに係るアイコンの情報を含むレスポンスを取得することにより、前記Webサービスに係るアイコンを含む画面を生成し、前記ユーザに提供することができる。

【0094】

以下、サービス情報格納部55の他の例を、図12を用いて説明する。図12は、サービス情報格納部を説明するための図（その4）である。

【0095】

図9から図11では、サービス情報格納部55を、リレーショナルデータベース（RDB）のような形で構成した場合の例を示したが、サービス情報格納部55を、図12に示されるように、XML（eXtensible Markup Language）データベース（XMLDB）のような形で構成してもよい。なお、図12に示されるサービス情報格納部55に格納されている内容は、図10に示されるサービス情報格納部55に格納されている内容と同様である。

【0096】

図13は、リクエストを説明するための図（その1）である。

【0097】

図13に示されるリクエストには、「ST:」の後の「http://foo/var/repository」によ

って、検索対象とするWebサービスのIDが記述され、「?」の後の「type=mfp」によって、検索条件が「key=value」の形で記述されている。

【0098】

クライアント20は、図13に示されるが如く、「?」の後に検索条件を含んだ検索のリクエストをマルチキャストでサービス情報提供サーバ10に送信する。

【0099】

クライアント20は、検索条件を含んだ検索のリクエストを用いてWebサービスを検索することによって、よりユーザの要求に沿ったWebサービスを検索することができる。

【0100】

なお、クライアント20は、検索条件として、「key1=value1&key2=value2・・・」と、複数の検索条件を指定することもできる。

【0101】

図14は、レスポンスを説明するための図（その1）である。

【0102】

図14に示されるレスポンスには、「ST:」の後の「http://foo/var/repository」によって、WebサービスのIDが記述され、「?」の後の「type=mfp&machinename=third Floor east side&displayname=Repository for Development section」によって、サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報が記述されている。

【0103】

より具体的には、「type=mfp」によって、前記Webサービスの実装タイプが記述され、「machinename=third Floor east side」によって、前記Webサービスを提供する装置の名前が英語で記述され、「displayname=Repository for Development section」によって、前記Webサービスの表示用の名前が英語で記述されている。

【0104】

なお、実際のレスポンスには、空白を含めることができないため、空白の代わりにHTTPスペース文字用エスケープシーケンス(%20)が含まれているが、説明の簡略化のため、本発明の実施の形態においては、空白を含めて説明を行っている。

【0105】

サービス情報提供部50は、図13に示されるようなリクエストを1度受信すると、図14に示すが如く、「?」の後にWebサービスの実装タイプや、Webサービスを提供する装置の名前、Webサービスの表示用の名前などのユーザがWebサービスを選択する場合に必要な情報を含むレスポンスを生成し、クライアント20に送信することができる。

【0106】

図15は、リクエストを説明するための図（その2）である。

【0107】

図15に示されるリクエストには、「type=mfp&」の後の「lang=ja」によって、当該リクエストに対するレスポンスに含まれるWebサービスに係る情報の言語が指定されている。

【0108】

より具体的には、図15のリクエストでは、「lang=ja」によって、当該リクエストに対するレスポンスに含まれるWebサービスに係る情報の内、日本語に対応している情報は日本語によってレスポンスすることが指定されている。

【0109】

クライアント20は、当該リクエストに対するレスポンスに含まれるWebサービスに係る情報の言語を指定する言語指定情報を、「?」の後の検索条件の付加情報に含めたりリクエストを用いてWebサービスを検索することによって、ユーザにとって分かりやすい言語で記述されたWebサービスに係る情報をレスポンスとして取得し、ユーザに提供す

ることができる。

【0110】

図16は、レスポンスを説明するための図（その2）である。

【0111】

図16に示されるレスポンスには、「type=mpf&machinename=3階東側&displayname=開発部用リポジトリサービス」によって、サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報が、日本語に対応している部分は、日本語で記述されている。

【0112】

なお、実際のレスポンスは、空白の場合と同様、日本語は、%~のようにエスケープした形で記述されるが、説明の簡略化のため、本発明の実施の形態においては、そのままの日本語を用いて説明を行っている。

【0113】

サービス情報提供部50は、クライアント20により送信された図15に示されるようなリクエストを受信すると、図15に示されるリクエストに含まれる「lang=」の部分を解析し、図16に示されるような「?」の後に日本語で記述されたWebサービスに係る情報を含むレスポンスを生成し、クライアント20に送信することができる。

【0114】

図17は、レスポンスを説明するための図（その4）である。

【0115】

図17に示されるレスポンスには、「icon=jh76FSD8wefqwde2DSte53uiweyr7wyr723fr23rr8fwe」によって、サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係るアイコンの情報が記述されている。

【0116】

サービス情報提供部50は、図17に示されるような前記Webサービスに係るアイコンの情報を含むレスポンスを生成することによって、一度の検索のリクエストに対して、ユーザがWebサービスを選択する場合に分かりやすさを提供するアイコン情報を含んだレスポンスをクライアント20に提供することができる。

【0117】

図18は、レスポンスを説明するための図（その4）である。

【0118】

クライアント20は、図13や図15を用いて説明したように、Webサービス提供サービス41が提供するWebサービスを検索する検索のリクエストをマルチキャストでサービス情報提供サーバ10に送信する他に、サービス情報提供サーバ10のWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスの一覧の取得を要求するHTTP1.1のGETリクエストをサービス情報提供サーバ10に送信する。

【0119】

該GETリクエストを取得した各Webサービス提供サービス41に実装されているサービス情報提供部50は、図18に示されるようなレスポンスを生成する。

【0120】

図18に示される<machineName lang="en"></machineName>のタグには、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスを提供する装置の名前が英語で格納されている。

【0121】

また、<machineName lang="ja"></machineName>のタグには、前記Webサービスを提供する装置の名前が日本語で格納されている。

【0122】

また、<displayName lang="en"></displayName>のタグには、前記Webサービスの表示用の名前が英語で格納されている。

【0123】

また、<displayName lang="ja"></displayName>のタグには、前記Webサービスの表示用の名前が日本語で格納されている。

【0124】

図19は、レスポンスを説明するための図（その5）である。

【0125】

Webサーバ40は、図18において説明したようなレスポンスを、各Webサービス提供サービス41に実装されているサービス情報提供部50より取得すると、前記レスポンスを含む図19に示すようなレスポンスを生成し、クライアント20に送信する。

【0126】

サービス情報提供サーバ10は、当該サービス情報提供サーバ10が提供するWebサービスの一覧情報を含んだ図19に示すようなレスポンスを一度のリクエストに基づいて生成し、クライアント20に送信することにより、ユーザがWebサービスを選択する場合に必要とする情報を含んだレスポンスをクライアント20に提供することができる。

【0127】

以下、サービス情報提供部50におけるサービス情報提供処理の例を図20から図22を用いて説明する。

【0128】

図20は、サービス情報提供処理のフローチャート（その1）である。

【0129】

サービス情報提供部50は、Webサーバ40より、クライアント20から送信された図13や図15を用いて説明したような検索のリクエストを取得すると、以下のステップS10からの処理を開始する。

【0130】

ステップS10において、リクエスト解析部51は、取得したリクエストの内容を解析する。

【0131】

例えば、リクエスト解析部51は、図13において説明したリクエストの「?」の後に記述されている検索条件（type=mpf）や、図15において説明した「lang=」で指定される言語指定情報を解析する。

【0132】

ステップS10に続いてステップS11に進み、サービス情報管理部53は、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報をサービス情報格納部55より取得する。

【0133】

例えば、サービス情報管理部53は、図9に示されるようなサービス情報格納部55より、Webサービスの表示用の名前や、Webサービスの実装タイプ、Webサービスを提供する装置の名前などのWebサービスに係る情報を取得する。

【0134】

ステップS11に続いてステップS12に進み、サービス情報判定部54は、ステップS10において解析した検索条件と、ステップS11において取得したWebサービスに係る情報とを比較して、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスが、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスかどうかを判定する。

【0135】

サービス情報判定部54は、該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスが、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスであると判定すると（ステップS12においてYES）、ステップS13に進み、該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスが、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスでないと判定すると（ステップS12においてNO）、処理を終了する。



## 【0136】

例えば、サービス情報判定部54は、図13に示されるリクエストより取得した検索条件であるtypeの値と、図9に示されるサービス情報格納部より取得したサービスの実装タイプの値とを比較して、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスが、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスかどうかを判定する。

## 【0137】

ステップS13において、サービス情報判定部54は、ステップS10において解析した結果に基づいて、日本語でレスポンスをすることが要求されているかどうかを判定する。

## 【0138】

サービス情報判定部54は、日本語でレスポンスをすることが要求されていると判定すると（ステップS13においてYES）、ステップS15に進み、日本語でレスポンスをすることが要求されていないと判定すると（ステップS13においてNO）、ステップS14に進む。

## 【0139】

例えば、サービス情報判定部54は、ステップS10において解析した結果、リクエストに「lang=ja」が含まれているかどうかに基づいて、日本語でレスポンスをすることが要求されているかどうかを判定する。

## 【0140】

ステップS14においてレスポンス生成部52は、ステップS11において取得したWebサービスに係る情報を用いて、日本語を含まないレスポンス（例えば、図14参照）を生成する。

## 【0141】

また、ステップS15では、レスポンス生成部52は、ステップS11において取得したWebサービスに係る情報を用いて、日本語を含むレスポンス（例えば、図16又は図17参照）を生成する。

## 【0142】

図20に示す処理を行うことによって、サービス情報提供部50は、例えば、図13や図15に示すような検索のリクエストの内容を解析して、該リクエストに対する、図14や図16、図17に示すようなレスポンスを生成することができる。

## 【0143】

以下、サービス情報提供処理の他の例を、図21を用いて説明する。図21は、サービス情報提供処理のフローチャート（その2）である。

## 【0144】

サービス情報提供部50は、Webサーバ40より、クライアント20から送信された図13や図15を用いて説明したような検索のリクエストを取得すると、以下のステップS40からの処理を開始する。

## 【0145】

ステップS40において、リクエスト解析部51は、取得したリクエストの内容を解析し、クエリーを作成する。なお、リクエスト解析部51は、サービス情報格納部55が、図9から図11に示したようにRDB形式であった場合は、SQL（Structured Query Language）を用いてクエリーを作成し、サービス情報格納部55が、図12に示したようにXMLDB形式であった場合は、XQueryを用いてクエリーを作成する。

## 【0146】

ステップS40に続いてステップS41に進み、サービス情報管理部53は、サービス情報格納部55に対して、ステップS40において作成したクエリーを用いて検索を実行する。なお、該クエリーには、例えば、図13において説明したリクエストの「?」の後に記述されている検索条件（type=mfp）や、図15において説明した「lang=」で指定さ

れる言語指定情報が含まれる。

【0147】

ステップS41に続いてステップS42に進み、サービス情報判定部54は、ステップS41において実行した検索の結果に基づいて、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスに係る情報が存在するかどうかを判定する。

【0148】

サービス情報判定部54は、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスに係る情報が存在すると判定すると（ステップS42においてYES）、ステップS43に進み、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスに係る情報が存在しないと判定すると（ステップS42においてNO）、処理を終了する。

【0149】

ステップS43では、サービス情報管理部53が、前記リクエストにおいて要求されているWebサービスに係る情報を、サービス情報格納部55より取得する。例えば、リクエストにおいて、「lang=」で日本語が指定されていた場合サービス情報管理部53は、日本語に対応しているWebサービスに係る情報は、日本語で書かれているWebサービスに係る情報を取得する。

【0150】

ステップS43に続いてステップS44に進み、レスポンス生成部52は、ステップS43において取得したWebサービスに係る情報を含むレスポンスを生成する。

【0151】

図21に示すような処理を行っても、サービス情報提供部50は、例えば、図13や図15に示すような検索のリクエストの内容を解析して、該リクエストに対する、図14や図16、図17に示すようなレスポンスを生成することができる。

【0152】

図22は、サービス情報提供処理のフローチャート（その3）である。

【0153】

サービス情報提供部50は、Webサーバ40より、クライアント20から送信されたHTTP1.1のGETリクエストを取得すると、以下のステップS20からの処理を開始する。

【0154】

ステップS20において、リクエスト解析部51は、取得したリクエストの内容を解析する。

【0155】

ステップS20に続いてステップS21に進み、サービス情報管理部53は、当該サービス情報提供部50が実装されているWebサービス提供サービス41が提供するWebサービスに係る情報をサービス情報格納部55より取得する。

【0156】

例えば、サービス情報管理部53は、図11に示されるようなサービス情報格納部55より、サービスの表示用の名前や、サービスの実装タイプ、サービスを提供する装置の名前などのサービスに係る情報を取得する。

【0157】

ステップS21に続いてステップS22に進み、レスポンス生成部52は、レスポンス（例えば、図18参照）を生成する。

【0158】

図22に示す処理を行うことによって、サービス情報提供部50は、HTTP1.1のGETリクエストの内容を解析して、該リクエストに対する、図18に示すようなレスポンスを生成することができる。

【0159】

以下、クライアント20のハードウェア構成を、図23を用いて説明する。

【0160】

図23は、クライアントの一例のハードウェア構成図である。

【0161】

図23に示されるクライアント20のハードウェア構成は、それぞれバスBで相互に接続されている入力装置21と、ディスプレイ装置22と、ドライブ装置23と、ROM (Read Only Memory) 25と、RAM (Random Access Memory) 26と、CPU (Central Processing Unit) 27と、インターフェース装置28と、HDD (Hard Disk Drive) 29とから構成されている。

【0162】

入力装置21は、クライアント20の利用者が操作するキーボード及びマウスなどで構成され、クライアント20に各種操作信号を入力するのに用いられる。

【0163】

表示装置22は、クライアント20の利用者が操作するディスプレイなどで構成され、後述する各種画面を表示する。

【0164】

インターフェース装置28は、クライアント20をネットワーク5に接続するインターフェースである。

【0165】

ユーザがサービスを選択する場合に必要なとする前記サービスに係る情報を取得するサービス情報取得プログラムは、例えば、CD-ROMなどの記録媒体24によってクライアント20に提供されるか、ネットワーク5を通じてダウンロードされる。記録媒体24は、ドライブ装置23にセットされ、データや前記サービス情報取得プログラムが記録媒体24からドライブ装置23を介してHDD29にインストールされる。

【0166】

ROM25は、データなどを格納する。RAM26は、クライアント20の起動時にHDD29から前記サービス情報取得プログラムを読み出して格納する。CPU27は、RAM26に読み出され格納された前記サービス情報取得プログラムに従って処理を実行する。

【0167】

図24は、クライアントの機能の一例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。

【0168】

図24に示すように、クライアント20は、リクエスト生成部60と、レスポンス解析部61と、ユーザI/F部62と、ネットワークI/F部63とを含む。

【0169】

リクエスト生成部60は、Webサービスの検索のリクエスト (例えば、図13又は図15参照) 及びHTTP1.1のGETリクエストを生成する。

【0170】

レスポンス解析部61は、サービス情報提供サーバ10より受信した、レスポンス (例えば、図14、図16、図17、図19参照) を解析する。

【0171】

ユーザI/F部62は、後述する図25や図26に示されるような画面を生成し、ディスプレイに表示する。また、表示した画面のボタンなどがユーザによってクリックされると、該イベント情報を取得し、リクエスト生成部60などに通知する。

【0172】

ネットワークI/F部63は、クライアント20と他の装置とを接続するインターフェースで、リクエスト生成部60において生成したリクエストを、ネットワーク5を介してサービス情報提供サーバ30に送信したり、サービス情報提供サーバ30からのレスポンスを、ネットワーク5を介して受信したりする。

【0173】

以下、ユーザ I / F 部 6 2 が生成して表示した画面の例を図 2 5 及び図 2 6 を用いて説明する。

【0174】

図 2 5 は、検索サービス選択画面の一例を説明するための図である。

【0175】

ユーザ I / F 部 6 2 は、クライアント 2 0 を操作するユーザからの要求に基づいて、図 2 5 に示すような、ユーザに検索する Web サービスを選択させる画面を生成し、ディスプレイに表示する。

【0176】

クライアント 2 0 を操作するユーザは、図 2 5 に示されるような画面を用いて、検索する Web サービスを選択する。

【0177】

ユーザ I / F 部 6 2 は、例えば、ユーザによって、リポジトリサービスが選択され、OK ボタンがクリックされると、該イベント情報を取得し、リクエスト生成部 6 0 などに通知する。

【0178】

リクエスト生成部 6 0 は、ユーザ I / F 部 6 2 よりユーザがリポジトリサービスを選択して OK ボタンをクリックした旨のイベント情報を取得すると、例えば、図 1 3 に示されるようなリクエストを生成し、サービス情報提供サーバ 1 0 などに送信する。

【0179】

図 2 6 は、検索結果画面の一例を説明するための図である。

【0180】

クライアント 2 0 は、レスポンス（例えば、図 1 4、図 1 6、図 1 7、図 1 9 参照）をサービス情報提供サーバ 1 0 などより受信する。

【0181】

レスポンス解析部 6 1 は、前記レスポンスを解析し、ユーザ I / F 部 6 2 は、レスポンス解析部 6 1 において解析した解析結果に基づいて、図 2 6 に示すような画面を生成し、ディスプレイに表示する。

【0182】

図 2 6 には、検索した Web サービスの結果として、Web サービスの表示用の名前と、Web サービスを提供する装置の名前とが日本語で表記され、Web サービスに係るアイコン（MFP のアイコン）が表示されている。

【0183】

図 2 5 及び図 2 6 に示すように、ユーザは、本発明によるサービス情報提供サーバ 1 0 及びクライアント 2 0 を用いることによって、検索する Web サービスを指定し、1 度検索を実行するだけで、ユーザが Web サービスを選択する場合に必要な情報を取得することができる。

【0184】

以下、クライアント 2 0 におけるサービス情報取得処理の一例を、図 2 7 を用いて説明する。

【0185】

図 2 7 は、サービス情報取得処理の一例のフローチャートである。

【0186】

リクエスト生成部 6 0 は、ユーザ I / F 部 6 2 より、図 2 5 に示すような検索サービス選択画面において、ユーザによって、検索する Web サービスが指定され、OK ボタンがクリックされた旨の情報を取得すると、以下のステップ S 3 0 からの処理を開始する。

【0187】

ステップ S 3 0 において、リクエスト生成部 6 0 は、Web サービスの検索のリクエスト（例えば、図 1 3 又は図 1 5 参照）及び／又は HTTP 1. 1 の GET リクエストを生成する。

**【0188】**

ステップS30に続いてステップS31に進み、ネットワークI/F部63は、ステップS30において生成したリクエストを、送信する。

**【0189】**

例えばネットワークI/F部63は、図13や図15に示されるWebサービスの検索のリクエストを、ネットワーク5を介して、サービス情報提供サーバ10などにマルチキャストで送信したり、HTTP1.1のGETリクエストをサービス情報提供サーバ10に送信したりする。

**【0190】**

ステップS31に続いてステップS32に進み、ネットワークI/F部63は、ネットワーク5を介して、サービス情報提供サーバ10などから送信されたWebサービスの検索のレスポンス（例えば、図14、図16、図17参照）及び／又はHTTP1.1のGETリクエストに対するレスポンス（例えば、図19参照）を受信する。

**【0191】**

ステップS32に続いてステップS33に進み、レスポンス解析部61は、ステップS32において取得したレスポンスを解析する。

**【0192】**

ステップS33に続いてステップS34に進み、ユーザI/F部62は、ステップS33において解析した結果に基づいて、例えば、図26に示されるような画面を生成する。

**【0193】**

ステップS34に続いてステップS35に進み、ユーザI/F部62は、ステップS34において生成した画面をディスプレイに表示する。

**【0194】**

図27に示す処理を行うことによって、クライアント20は、図13や図15に示されるようなリクエスト及び／又はHTTP1.1のGETリクエストをサービス情報提供サーバ10に送信して、図14、図16、図17に示されるようなレスポンス及び／又は図19に示されるようなレスポンスを取得し、ユーザがWebサービスを選択する場合に必要とする情報を1度の検索及び／又は取得要求で、ユーザに提供することができる。

**【0195】**

なお、上述したクライアント20では、専用のプログラムを用い、図14、図16、図17に示されるようなレスポンスでも、図19に示されるようなレスポンスでもそれぞれ解釈し、画面を生成し、表示する構成としたが、例えば、サービス情報提供サーバ10と、クライアント20との間に図18及び図19に示されるようなXMLベースの言語をHTMLベースの言語に変換するXSLT (XML Stylesheet Language Transform) プロセッサを設け、サービス情報提供サーバ10から返信されるレスポンスをクライアント20のブラウザで表示するような構成としてもよい。

(第二実施例の説明)

以下では、サービス情報提供部50が実装されたWebサービスを提供するアプリが動作する装置の他の例として、画像を形成する画像形成装置（以下、融合機という）を用いて説明を行う。

**【0196】**

図28は、融合機の機能構成を示すブロック図である。

**【0197】**

図28において、融合機1200は、プロッタ1201と、スキャナ1202と、ファクシミリなどのハードウェアリソース1203などを有するとともに、プラットフォーム1220とアプリケーション1230とから構成されるソフトウェア群1210と、融合機起動部1240とを備えている。

**【0198】**

融合機起動部1240は、融合機1200の電源投入時に先ず始めに実行され、プラットフォーム1220やアプリケーション1230を起動する。

**【0199】**

プラットフォーム1220は、アプリケーション1230からの処理要求を解釈して、ハードウェア資源の獲得要求を発生させる下記に示すコントロールサービス1250と、一又は複数のハードウェア資源の管理をおこない、コントロールサービス1250からの獲得要求を調停するシステムリソースマネージャー（SRM（System Resource Manager）1223）と、OS1221とを有する。

**【0200】**

このコントロールサービス1250は、複数のサービスモジュールにより形成され、具体的には、SCS（System Control Service）1222と、ECS（Engine Control Service）1224と、MCS（Memory Control Service）1225と、OCS（Operation panel Control Service）1226と、FCS（FAX Control Service）1227と、NCS（Network Control Service）1228と、IMH（Imaging Memory Handler）1229と、がある。なお、このプラットフォーム1220は、あらかじめ定義された関数により前記アプリケーションからの処理要求を受信可能とするアプリケーションプログラムインターフェースを有する。

**【0201】**

OS1221は、UNIX（登録商標）などのオペレーティング・システムであり、プラットフォーム1220並びにアプリケーション1230の各ソフトウェアをそれぞれプロセスとして並列実行する。

**【0202】**

SRM1223は、SCS1222とともにシステムの制御及びリソースの管理を行うものであり、スキャナやプロッタなどのエンジン部、メモリ、HDDファイル、ホストI/O（セントロI/F、ネットワークI/F、IEEE1394I/F、RS232CI/Fなど）のハードウェア資源を利用する上位層からの要求にしたがって調停をおこない、実行制御する。

**【0203】**

SCS1222は、アプリ管理、操作部制御、システム画面表示（ジョブリスト画面、カウンタ表示画面など）、LED表示、リソース管理、割り込みアプリ制御等の複数の機能を行なう。

**【0204】**

ECS1224は、プロッタ1201と、スキャナ1202と、その他ハードウェアリソース1203などのエンジン部を制御するものであり、画像読み込みと印刷動作、状態通知、ジャムリカバリなどを行う。

**【0205】**

MCS1225は、メモリ制御を行う。

**【0206】**

OCS1226は、オペレータと本体制御間の情報伝達手段となる操作パネルを制御するモジュールであり、オペレータのキー操作イベントを本体制御に通知する処理、各アプリがGUIを構築するためのライブラリ関数を提供する処理、構築されたGUI情報をアプリ別に管理する処理、操作パネル上への表示反映処理などを行う。

**【0207】**

FCS1227は、システムコントローラの各アプリ層からPSTN/ISDN網を使ったファクシミリ送受信、BKM（バックアップSRAM）で管理されている各種ファクシミリデータの登録/引用、ファクシミリ読み取り、ファクシミリ受信印刷、融合送受信を行うためのAPI（Application Program Interface）1205を提供する。

**【0208】**

NCS1228は、ネットワークI/Oを必要とするアプリケーションに対して共通に

利用できるサービスを提供するためのモジュール群であり、ネットワーク側から各プロトコルによって受信したデータを各アプリケーションに振り分けたり、アプリケーションからデータをネットワーク側に送信する際の仲介を行ったりする。

#### 【0209】

本実施例において、例えば、NCS1228で、複数のプロトコルのうちhttpd (Hypertext Transfer Protocol Daemon) 2によって、インターネットを介して接続されるクライアントとのデータ通信をHTTP (Hypertext Transfer Protocol) で制御し、HTTPリクエストヘッダで指定されるWebサービスに対応する処理部を関数コールによって起動し、そのWebサービスによる処理結果をHTTPレスポンスで該クライアントへ通知するように構成しても良い。Webサービスは、例えば、XMLによって記述されたメッセージに従って提供される。

#### 【0210】

IMH1229は、イメージデータを仮想メモリ領域（ユーザ仮想空間）から物理メモリへマップする。

#### 【0211】

アプリケーション1230は、ページ記述言語 (PDL)、PCL及びポストスクリプト (PS) を有するプリンタ用のアプリケーションであるプリンタアプリ1211と、コピー用アプリケーションであるコピーアプリ1212と、ファクシミリ用アプリケーションであるファックスアプリ1213と、スキャナ用アプリケーションであるスキャナアプリ1214と、WebサービスアプリケーションであるWebサービス処理アプリ1215と、工程検査用アプリケーションである工程検査アプリ1216と、配信用アプリケーションである配信アプリ1217と、を有する。

#### 【0212】

Webサービス処理アプリ1215は、Webサービスを要求するHTTPリクエストを受信して、HTTPレスポンスを送信することによってWebサービスを提供するWebサーバ500と、API (Application Program Interface) 1205を介してコントロールサービス1250を利用して所定処理を行い、その処理結果をWS-API (Web Service Application Program Interface) を介してWebサービスとして提供するWebサービスファンクション (WSF) 1400とを有する。

#### 【0213】

図4に示すシステム構成と同様に、融合機1200は、ネットワーク5を介してクライアント20に接続される。図4を用いて説明したWebサービス提供サービス41は、該Webサービス処理アプリ1215に相当する。

#### 【0214】

第一実施例において説明したサービス情報提供部50は、本実施例においては、例えば、各Webサービスファンクション (WSF) 1400にサービス情報提供部50に対応するプログラムを実装させる形で実現される。

#### 【0215】

なお、サービス情報提供部50における処理は、第一実施例において説明したのと同様である。

#### 【0216】

サービス情報提供部50は、ネットワーク5を介して融合機1200と接続されたクライアント20から図13や図15を用いて説明した検索のリクエストを取得すると、図20に示した処理を開始し、前記リクエストに対する図14や図16、図17に示すようなレスポンスを生成する。

#### 【0217】

また、サービス情報提供部50は、ネットワーク5を介して融合機1200と接続されたクライアント20からHTTP1.1のGETリクエストを取得すると、図22に示し

た処理を開始し、前記GETリクエストに対する図18に示すようなレスポンスを生成する。

#### 【0218】

融合機1200は、各アプリで共通的に必要となる処理をプラットフォーム1220で一元的に処理する。

#### 【0219】

以下、融合機1200に実装されたサービス情報提供部50の一例を、図29を用いて説明する。図29は、融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図（その1）である。

#### 【0220】

図29に示されるように、サービス情報提供部50は、WSF1400であるプリントサービス提供サービス42や、リポジトリサービス提供サービス43毎に実装され、リクエスト解析部51と、レスポンス生成部52と、サービス情報管理部53と、サービス情報判定部54とを含む。

#### 【0221】

なお、ディストリビューター2aは、HTTPリクエストに対応するWSF1400に処理を分配する分配部である。また、sspd2bは、SSDP (Simple Service Discover Protocol) に基づいて、クライアント20と、XMLで記述された情報をやり取りするためのデーモンである。

#### 【0222】

また、サービス情報格納部45は、後述する融合機1200のHDD1303又はフラッシュメモリ等で構成される。

#### 【0223】

以下、融合機1200に実装されたサービス情報提供部50の他の例を、図30を用いて説明する。図30は、融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図（その2）である。

#### 【0224】

図30に示されるサービス情報提供部50の機能構成は、図29に示したサービス情報提供部50の機能構成と比べて、リクエスト解析部51と、レスポンス生成部52と、がサービス情報提供部50には含まれず、Webサーバ500に含まれる構成となっている。

#### 【0225】

図30に示される構成とすることによって、融合機1200に複数のWSF1400が存在し、各WSF1400ごとにサービス情報提供部50が実装されている場合であっても、複数のサービス情報提供部50において、リクエスト解析部51と、レスポンス生成部52と、を共有し、使用することができる。

#### 【0226】

次に、融合機1200のハードウェア構成について説明する。図31は、融合機のハードウェア構成を示すブロック図である。図31に示すように、この融合機1200は、オペレーションパネル1310、FAXコントロールユニット (FCU) 1530、エンジン部1350 (スキャナ1202等が接続される) 及びプロッタ1201とコントローラ1300のASIC1301とをPCI (Peripheral Component Interconnect) バス1309等で接続した構成となる。

#### 【0227】

コントローラ1300は、ASIC1301にMEM-C1302、HDD (Hard Disk Drive) 1303などを接続するとともに、このASIC1301とCPU1304とをCPUチップセットのNB1305を介して接続している。

#### 【0228】

CPU1304は、融合機1200の全体制御を行うものであり、具体的には、OS1221上でプラットフォーム1220を形成するSCS1222、SRM1223、EC



S1224、MCS1225、OCS1226、FCS1227、NCS1228をそれぞれプロセスとして起動して実行させるとともに、アプリケーション1230を形成するプリンタアプリ1211、コピーアプリ1212、ファックスアプリ1213、スキャナアプリ1214、Webサービス処理アプリ1215、工程検査アプリ1216、配信アプリ1217を起動して実行させる。

#### 【0229】

NB1305は、CPU1304とMEM-P1306、SB1307、NIC (Network Interface Card) 1341、USB (Universal Serial Bus) 1330、IEEE13941340、セントロニクス1342、ASIC1301とを接続するためのブリッジである。

#### 【0230】

MEM-P1306は、融合機の描画用メモリなどとして用いるシステムメモリであり、SB1307は、NB1305とROM、PCIデバイス、周辺デバイスとを接続するためのブリッジである。MEM-C1302は、コピー用画像バッファ、符号バッファとして用いるローカルメモリであり、ASIC1301は、画像処理用のハードウェア要素を有する画像処理用途向けのICである。

#### 【0231】

HDD1303は、画像データの蓄積、プログラムの蓄積、フォントデータの蓄積、フォームの蓄積を行うためのストレージであり、オペレーションパネル1310は、操作者からの入力操作の受け付け並びに操作者に向けた表示を行う操作部である。

#### 【0232】

したがって、ASIC1301には、MEM-C1302を接続するためのRAMインターフェースと、HDD1303を接続するためのハードディスクインターフェースが設けられ、これらの記憶部に対して画像データの入出力を行う場合には、入出力先がRAMインターフェース又はハードディスクインターフェースに切り替えられる。

#### 【0233】

AGP1308は、グラフィック処理を高速化するために提案されたグラフィックスアクセラレーターカード用のバスインターフェースであり、システムメモリに高スループットで直接アクセスすることにより、グラフィックスアクセラレーターカードを高速にする。

#### 【0234】

サービス情報提供部50が実装されたWebサービスを提供するアプリが動作する装置が、融合機1200であったとしても、クライアント20は、Webサービスの検索のリクエスト（例えば、図13又は図15参照）及び／又はHTTP1.1のGETリクエストを生成し、送信して、融合機1200より、Webサービスの検索のレスポンス（例えば、図14、図16、図17参照）及び／又はHTTP1.1のGETリクエストに対するレスポンス（例えば、図19参照）を受信し、ユーザがWebサービスを選択する場合に必要とする情報を1度の検索及び／又は取得要求で、ユーザに提供することができる。

#### 【0235】

以上、本発明の好ましい実施例について詳述したが、本発明は係る特定の実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明の要旨の範囲内において、種々の変形・変更が可能である。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0236】

【図1】従来技術の問題点を説明するための図（その1）である。

【図2】従来技術の問題点を説明するための図（その2）である。

【図3】本発明を実施するシステム構成の一例を説明するためのシステム構成図である。

【図4】本発明を実施するシステム構成の他の例を説明するためのシステム構成図である。

- 【図 5】 サービス情報提供サーバの一例の機能構成図である。
- 【図 6】 サービス情報提供サーバの一例のハードウェア構成図である。
- 【図 7】 サービス情報提供部の機能の一例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。
- 【図 8】 サービス情報提供部の機能の他の例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。
- 【図 9】 サービス情報格納部を説明するための図（その 1）である。
- 【図 10】 サービス情報格納部を説明するための図（その 2）である。
- 【図 11】 サービス情報格納部を説明するための図（その 3）である。
- 【図 12】 サービス情報格納部を説明するための図（その 4）である。
- 【図 13】 リクエストを説明するための図（その 1）である。
- 【図 14】 レスポンスを説明するための図（その 1）である。
- 【図 15】 リクエストを説明するための図（その 2）である。
- 【図 16】 レスポンスを説明するための図（その 2）である。
- 【図 17】 レスポンスを説明するための図（その 4）である。
- 【図 18】 レスポンスを説明するための図（その 4）である。
- 【図 19】 レスポンスを説明するための図（その 5）である。
- 【図 20】 サービス情報提供処理のフローチャート（その 1）である。
- 【図 21】 サービス情報提供処理のフローチャート（その 2）である。
- 【図 22】 サービス情報提供処理のフローチャート（その 3）である。
- 【図 23】 クライアントの一例のハードウェア構成図である。
- 【図 24】 クライアントの機能の一例を、機能ブロック図を用いて説明するための図である。
- 【図 25】 検索サービス選択画面の一例を説明するための図である。
- 【図 26】 検索結果画面の一例を説明するための図である。
- 【図 27】 サービス情報取得処理の一例のフローチャートである。
- 【図 28】 融合機の機能構成を示すブロック図である。
- 【図 29】 融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図（その 1）である。
- 【図 30】 融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図（その 2）である。
- 【図 31】 融合機のハードウェア構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

【0237】

2     httpd (H y p e r t e x t   T r a n s f e r   P r o t o c o l   D a  
e m o n )

5     ネットワーク

10    サービス情報提供サーバ

20    クライアント

21    入力装置

22    表示装置

23    ドライブ装置

24    記録媒体

25    ROM (R e a d   O n l y   M e m o r y)

26    RAM (R a n d o m   A c c e s s   M e m o r y)

27    CPU (C e n t r a l   P r o c e s s i n g   U n i t)

28    インターフェース装置

29    HDD (H a r d   D i s k   D r i v e)

31    ドライブ装置

32    記録媒体

33    ROM (R e a d   O n l y   M e m o r y)

34    RAM (R a n d o m   A c c e s s   M e m o r y)

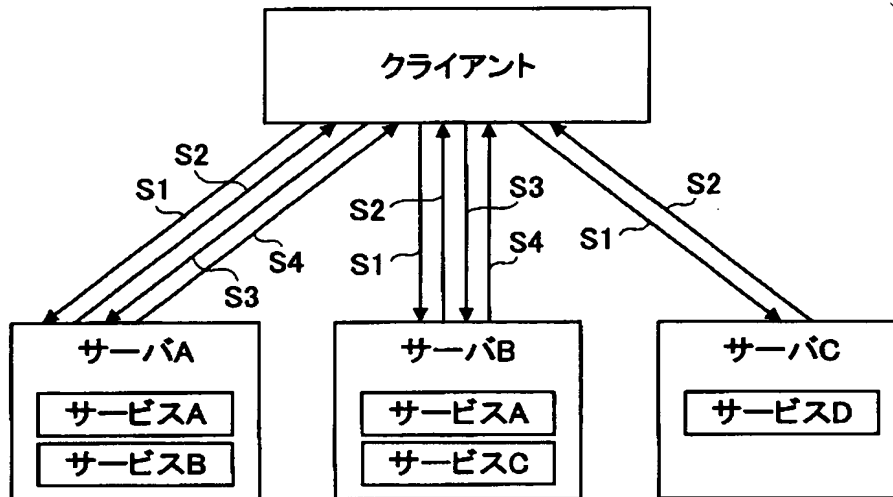
35 CPU (Central Processing Unit)  
36 インターフェース装置  
37 HDD (Hard Disk Drive)  
40 Webサーバ  
41 Webサービス提供サービス  
42 プリントサービス提供サービス  
43 リポジトリサービス提供サービス  
50 サービス情報提供部  
51 リクエスト解析部  
52 レスポンス生成部  
53 サービス情報管理部  
54 サービス情報判定部  
55 サービス情報格納部  
60 リクエスト生成部  
61 レスポンス解析部  
62 ユーザ I/F 部  
63 ネットワーク I/F 部  
1200 融合機  
1201 プロッタ  
1202 スキャナ  
1203 その他ハードウェアリソース  
1210 ソフトウェア群  
1220 プラットフォーム  
1221 OS (Operating System)  
1222 SCS (System Control Service)  
1223 SRM (System Resource Manager)  
1224 ECS (Engine Control Service)  
1225 MCS (Memory Control Service)  
1226 OCS (Operation panel Control Service)  
1227 FCS (FAX Control Service)  
1228 NCS (Network Control Service)  
1229 IMH (Imaging Memory Handler)  
1230 アプリケーション  
1301 ASIC (Application Specific Integrated Circuit)  
1302 MEM-C  
1303 HDD (Hard Disk Drive)  
1304 CPU (Central Processing Unit)  
1305 NB (ノースブリッジ)  
1306 MEM-P (システムメモリ)  
1307 SB (サウスブリッジ)  
1308 AGP (Accelerated Graphics Port)  
1309 PCI Bus (Peripheral Component Interconnect Bus)  
1310 オペレーションパネル  
1330 USB (Universal Serial Bus) ターゲット  
1340 IEEE1394  
1341 NIC (Network Interface Card)  
1342 セントロニクス

1 3 5 0 エンジン部  
1 5 3 0 F C U ( F A X コントロールユニット)

【書類名】 図面

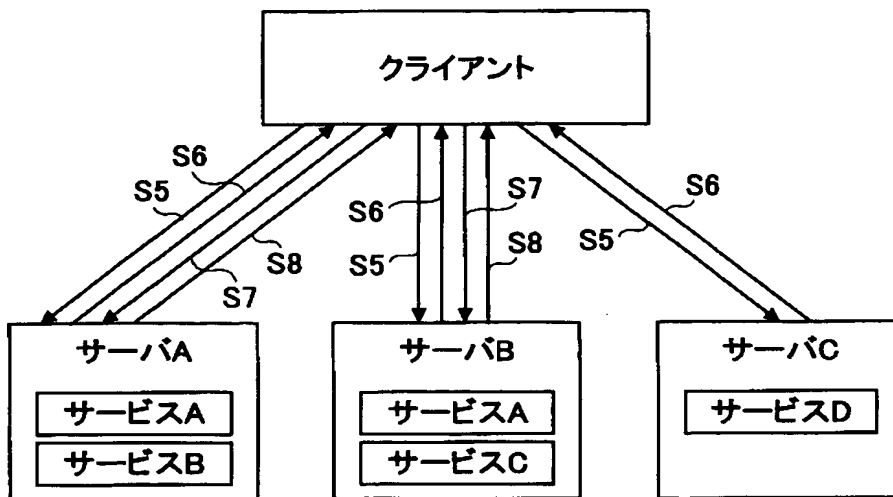
【図 1】

従来技術の問題点を説明するための図(その1)



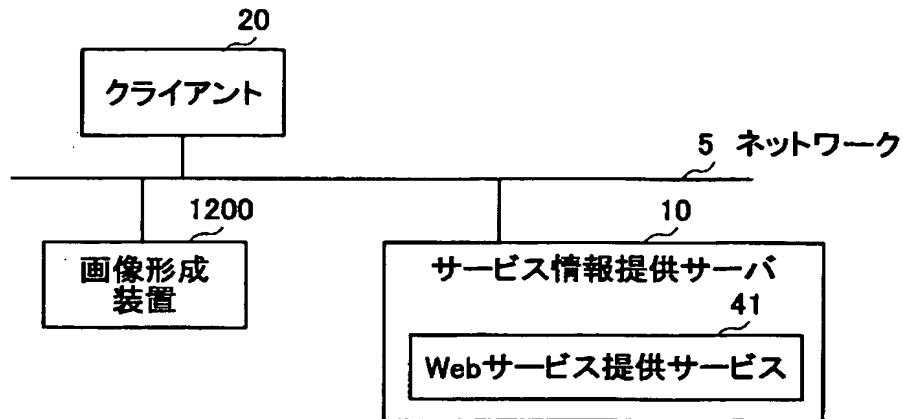
【図 2】

従来技術の問題点を説明するための図(その2)



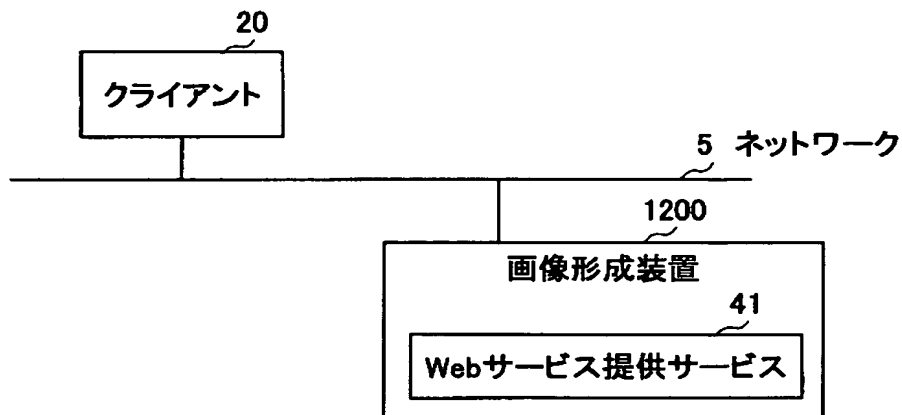
【図 3】

本発明を実施するシステム構成の  
一例を説明するためのシステム構成図



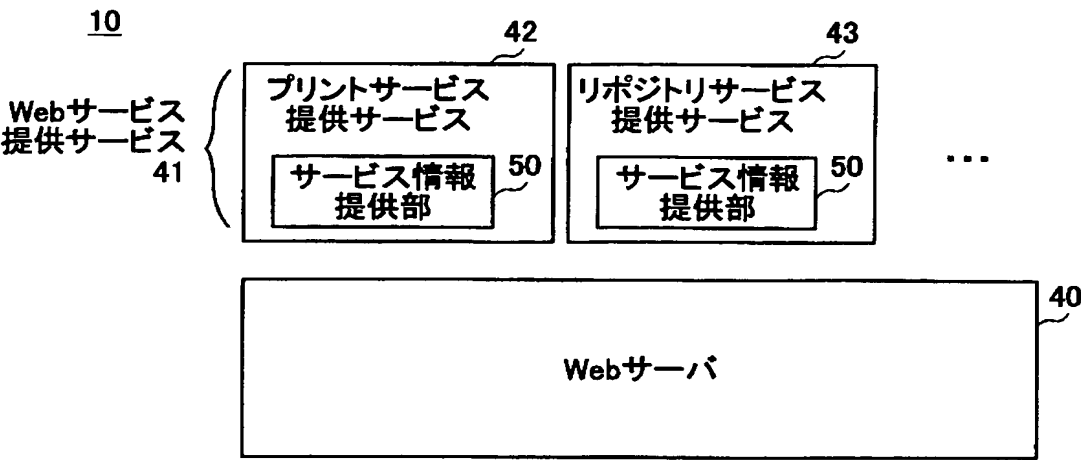
【図 4】

本発明を実施するシステム構成の  
他の例を説明するためのシステム構成図



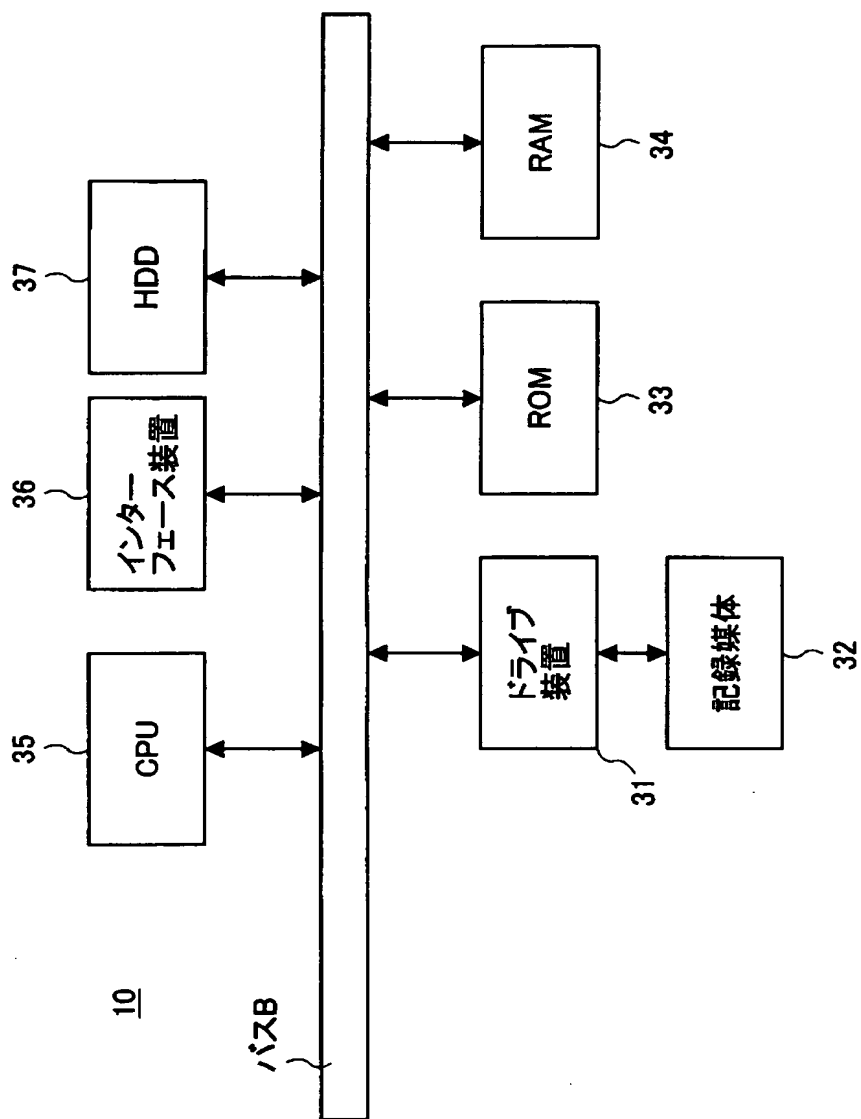
【図 5】

サービス提供サーバの一例の機能構成図



【図 6】

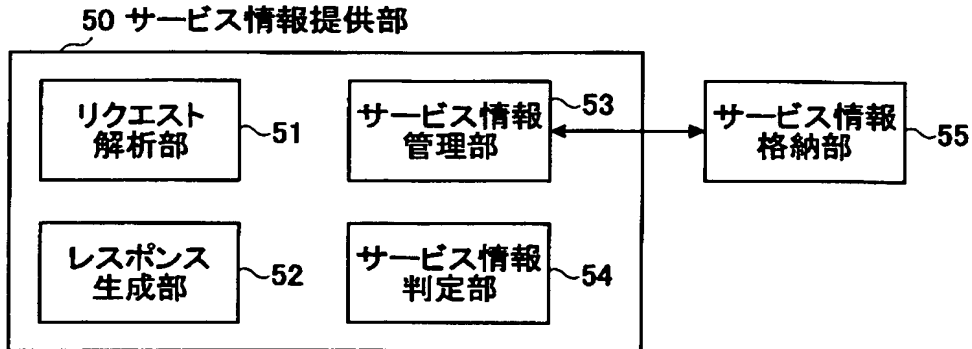
サービス提供サーバの一例のハードウェア構成図





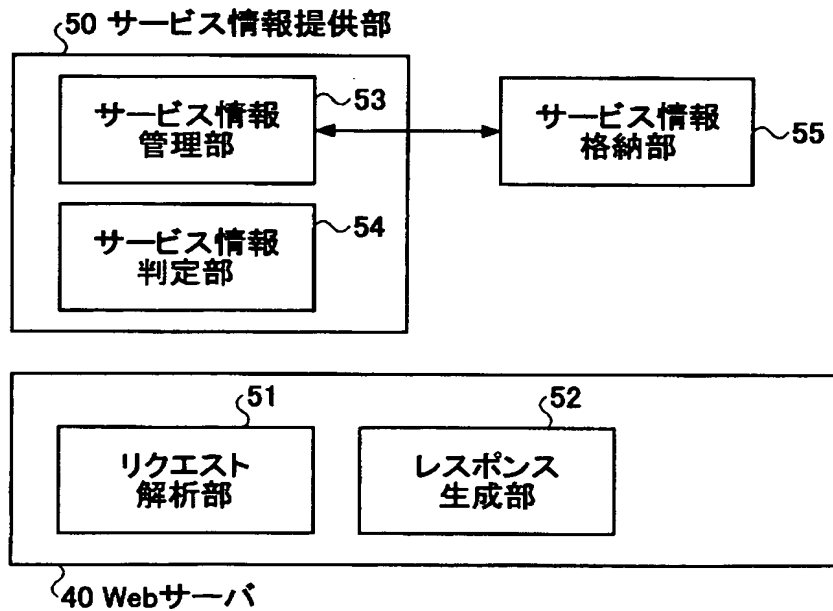
【図 7】

サービス情報提供部の機能の一例を、  
機能ブロック図を用いて説明するための図



【図 8】

サービス情報提供部の機能の他の例を、  
機能ブロック図を用いて説明するための図



【図 9】

サービス情報格納部を説明するための図(その1)

55

Name	Display Name	Access port	Access Uri	Type	Machine Name
Print	High speed print service	80	/print	mfp	Third floor east side

【図 1 0】

サービス情報格納部を説明するための図(その2)

Name	Display Name	Display Name ja	Access port	Access Uri	Type	Machine Name	Machine Name ja
Print	High speed print service	高速プリント サービス	80	/print	mfp	Third floor east side	3階東側

【図 1 1】

サービス情報格納部を説明するための図(その3)

Name	Display Name	Display Name ja	Access port	Access Uri	Type	Machine Name	Machine Name ja	Icon
Print	High speed print service	高速プリント サービス	80	/print	mfp	Third floor east side	3階東側	jh78FSD8wefqwde2D Ste53uiweyr1wyr723 fr23rr8fwe

【図 1 2】

## サービス情報格納部を説明するための図(その4)

55

```
<serviceList>
  <service>
    <Name>Print</Name>
    <DisplayName xml:lang='en'>High speed print service</DisplayName>
    <DisplayName xml:lang='ja'>高速プリントサービス</DisplayName>
    <AccessPort>80</AccessPort>
    <Type>mfp</Type>
    <MachineName xml:lang='en'>Third floor east side</MachineName>
    <MachineName xml:lang='ja'>3階東側</MachineName>
  </service>
  <service>
    ...
  </service>
</serviceList>
```

【図 1 3】

## リクエストを説明するための図(その1)

```
M-SEARCH * HTTP/1.1
HOST: 239.255.255.250:1900
MAN: "ssdp:discover"
ST: http://foo/var/repository?type=mfp
```

【図 1 4】

## レスポンスを説明するための図(その1)

HTTP/1.1 200 OK  
DATE: Tue, 15 Sep 2002 08:12:31 GMT  
ST:  
http://foo/var/repository?type=mfp&machinename=third Floor east  
side&displayname=Repository for Development section  
LOCATION: http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl

【図 1 5】

## リクエストを説明するための図(その2)

M-SEARCH \* HTTP/1.1  
HOST: 239.255.255.250:1900  
MAN: "ssdp:discover"  
ST: http://foo/var/repository?type=mfp&lang=ja

【図 1 6】

## レスポンスを説明するための図(その2)

HTTP/1.1 200 OK  
DATE: Tue, 15 Sep 2002 08:12:31 GMT  
ST:  
http://foo/var/repository?type=mfp&machinename=3階東側&displayname  
=開発部用リポジトリサービス  
LOCATION: http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl

【図 17】

## レスポンスを説明するための図(その4)

```
HTTP/1.1 200 OK
DATE: Tue, 15 Sep 2002 08:12:31 GMT
ST:
http://foo/var/repository?type=mfp&machinename=3階東側&displayname
=開発部用リポジトリサービス&icon=jh76FSD8wefqwde2DSte53uiweyr7wyr72
3fr23rr8fwe
LOCATION: http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl
```

【図 18】

## レスポンスを説明するための図(その4)

```
<service>
  <location>http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl?foo</location>
  <referencedService>repository</referencedService>
  <machineName xml:lang='en'>Third floor east side</machineName>
  <machineName xml:lang='ja'>3階東側</machineName>
  <displayName xml:lang='en'>Repository for Development section</displayName>
  <displayName xml:lang='ja'>開発部用リポジトリ</displayName>
  <icon>jh76FSD8wefqwde2DSte53uiweyr7wyr723fr23rr8fwe</icon>
</service>
```

【図 19】

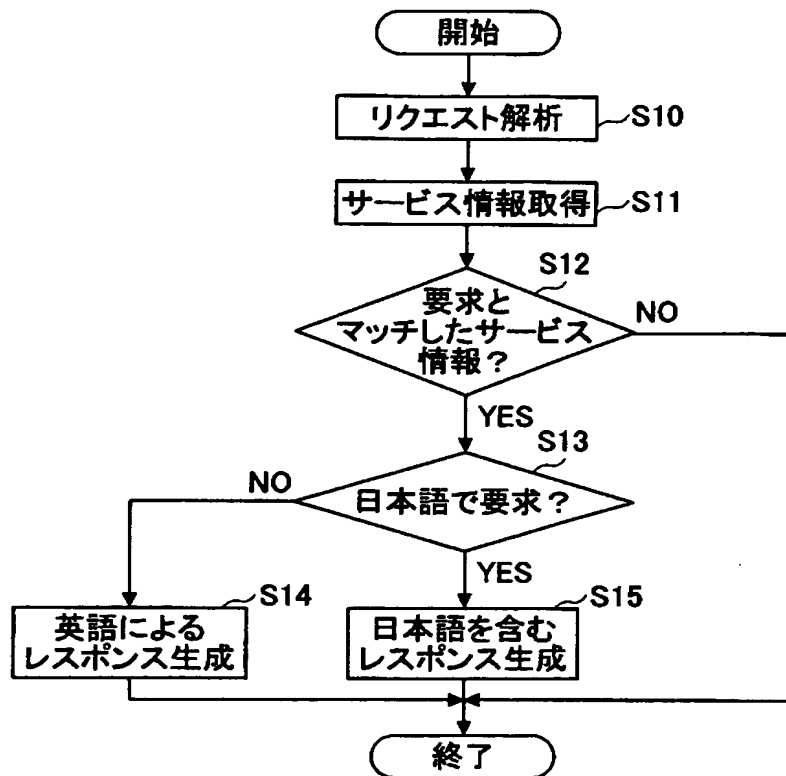
## レスポンスを説明するための図(その5)

```
<inspection>
  <service>
    <location>http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl?foo</location>
    <referencedService>repository</referencedService>
    <machineName lang="en">Third floor east side</machineName>
    <machineName lang="ja">3 階東側</machineName>
    <displayName lang="en">Repository for Development section</displayName>
    <displayName lang="ja">開発部用リポジトリ</displayName>
    <icon>jh76FSD8wefqwde2DSte53ulweyr7wyr723fr23rr8fwe</icon>
  </service>
  <service>
    <location>http://133.139.210.53:8080/repository.wsdl?bar</location>
    <referencedService>repository</referencedService>
    <machineName lang="en">Third floor east side</machineName>
    <machineName lang="ja">3 階東側</machineName>
    <displayName lang="en">Repository for Marketing section</displayName>
    <displayName lang="ja">マーケティング部用リポジトリ</displayName>
    <icon>lkjDEFJuf8e4jir8y4rf8Jhf8fIEFHIO9u8we</icon>
  </service>
  <service>
    <location>http://133.139.210.53/print.wsdl</location>
    <referencedService>print</referencedService>
    <machineName lang="en">Third floor east side</machineName>
    <machineName lang="ja">3 階東側</machineName>
    <displayName lang="en">High speed print service</displayName>
    <displayName lang="ja">高速プリントサービス</displayName>
    <icon>sjd824joJJD99rjtgir984JHEFROF94rjo0IERFJIEFJED</icon>
  </service>
</inspection>
```



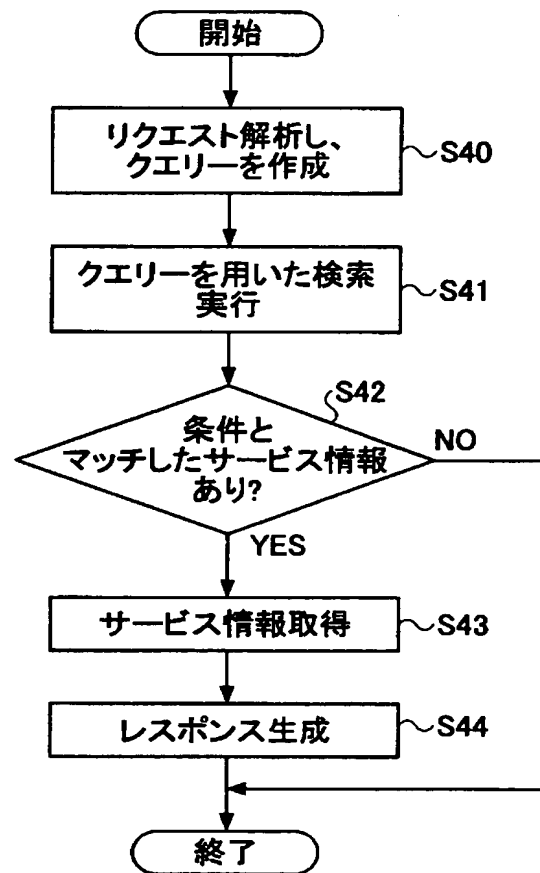
【図 20】

## サービス情報提供処理のフローチャート(その1)



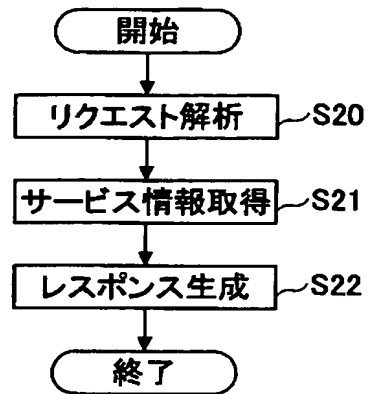
【図 21】

## サービス情報提供処理のフローチャート(その2)



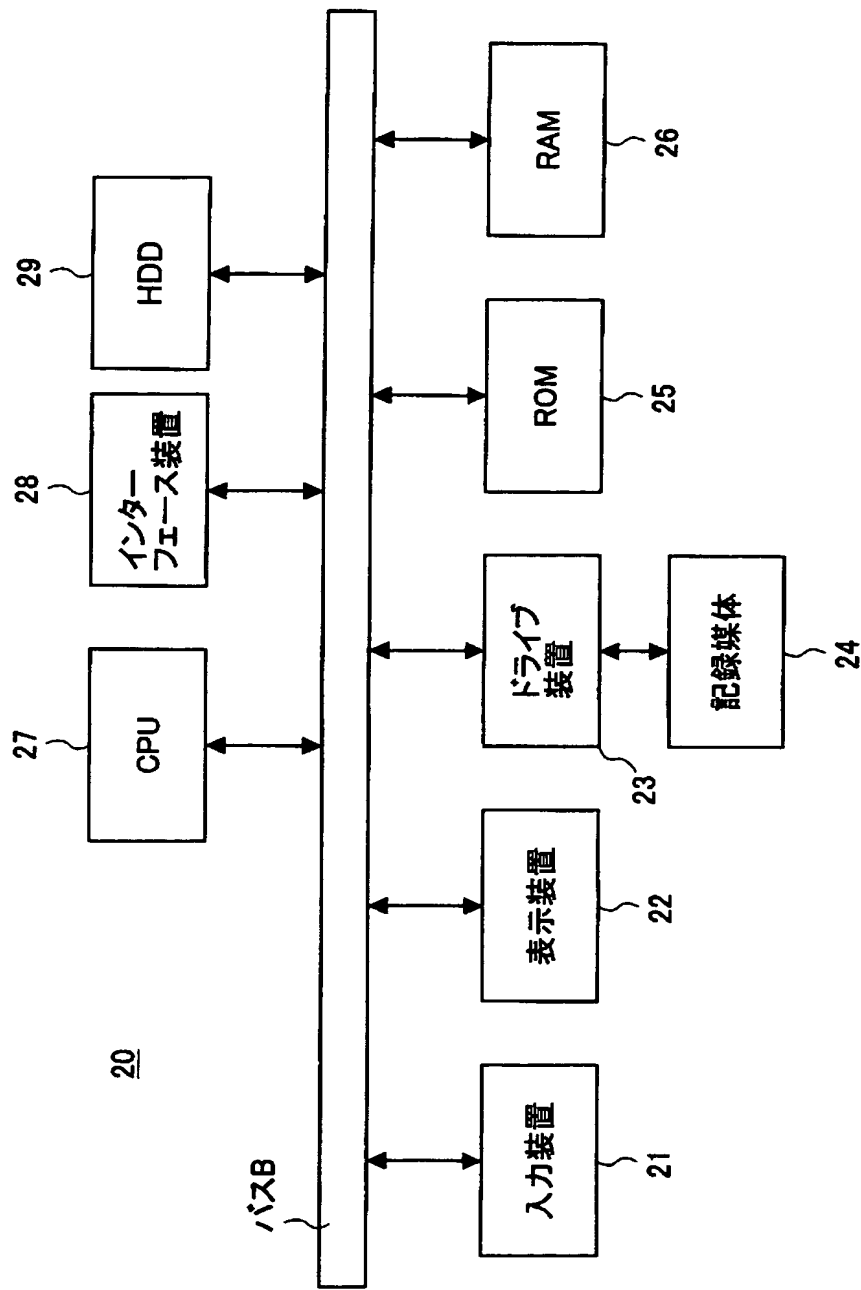
【図 22】

## サービス情報提供処理のフローチャート(その3)



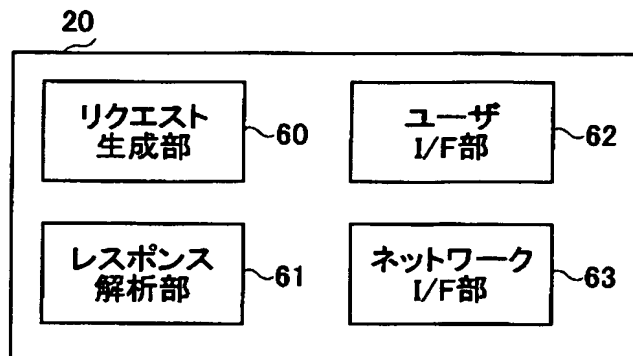
【図 23】

クライアントの一例のハードウェア構成図



【図 2 4】

クライアントの機能の一例を、  
機能ブロック図を用いて説明するための図



【図 2 5】

検索サービス選択画面の一例を説明するための図

検索するサービスを選択して下さい

☒ リポジトリサービス

☐ プリントサービス


☐ スキャンサービス


OK

【図 26】

検索結果画面の一例を説明するための図

使用するサービスを選択して下さい

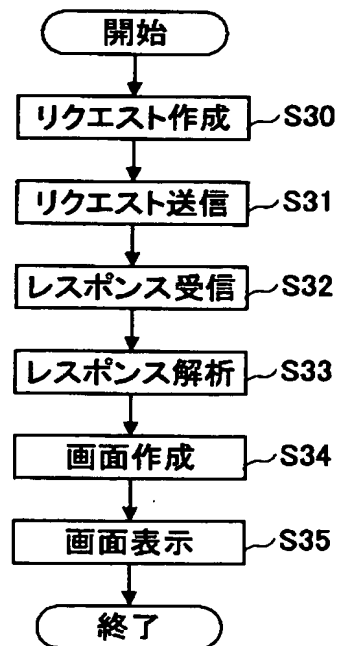
☒ 開発部用リポジトリ(3階東側) 

☐ マーケティング部用リポジトリ(3階東側) 

OK

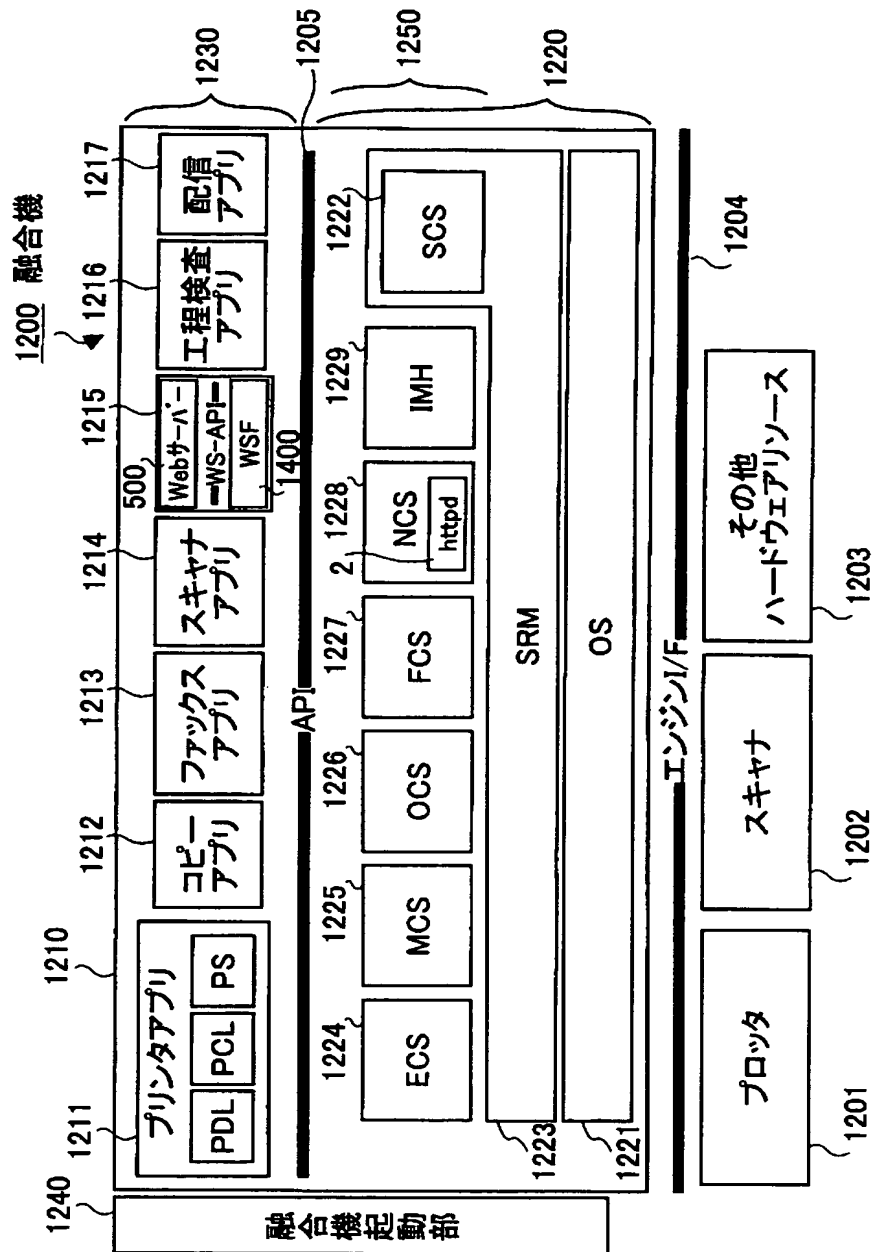
【図 27】

サービス情報取得処理の一例のフローチャート



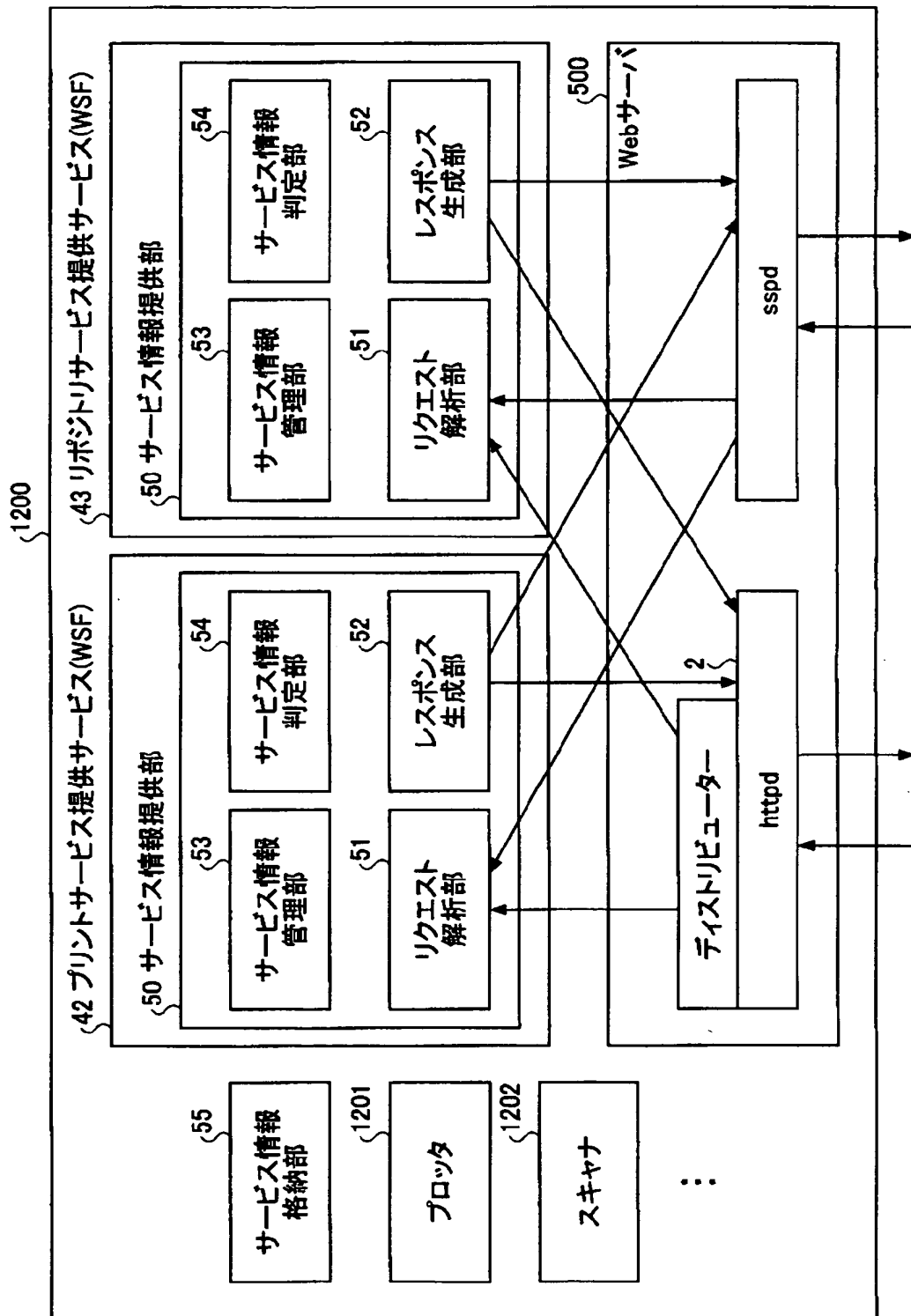
【図 28】

融合機の機能構成を示すブロック図



【図 29】

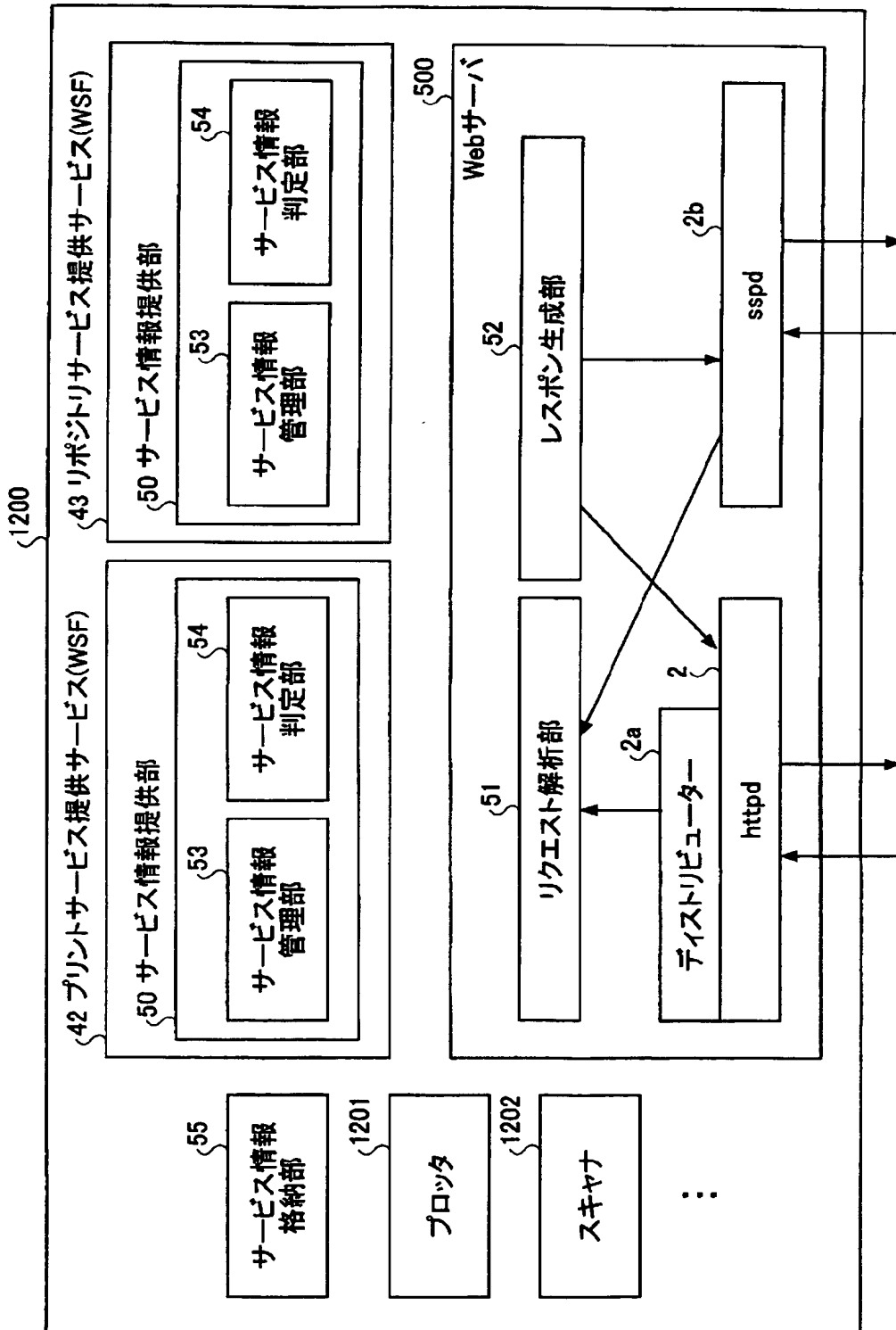
融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図(その1)





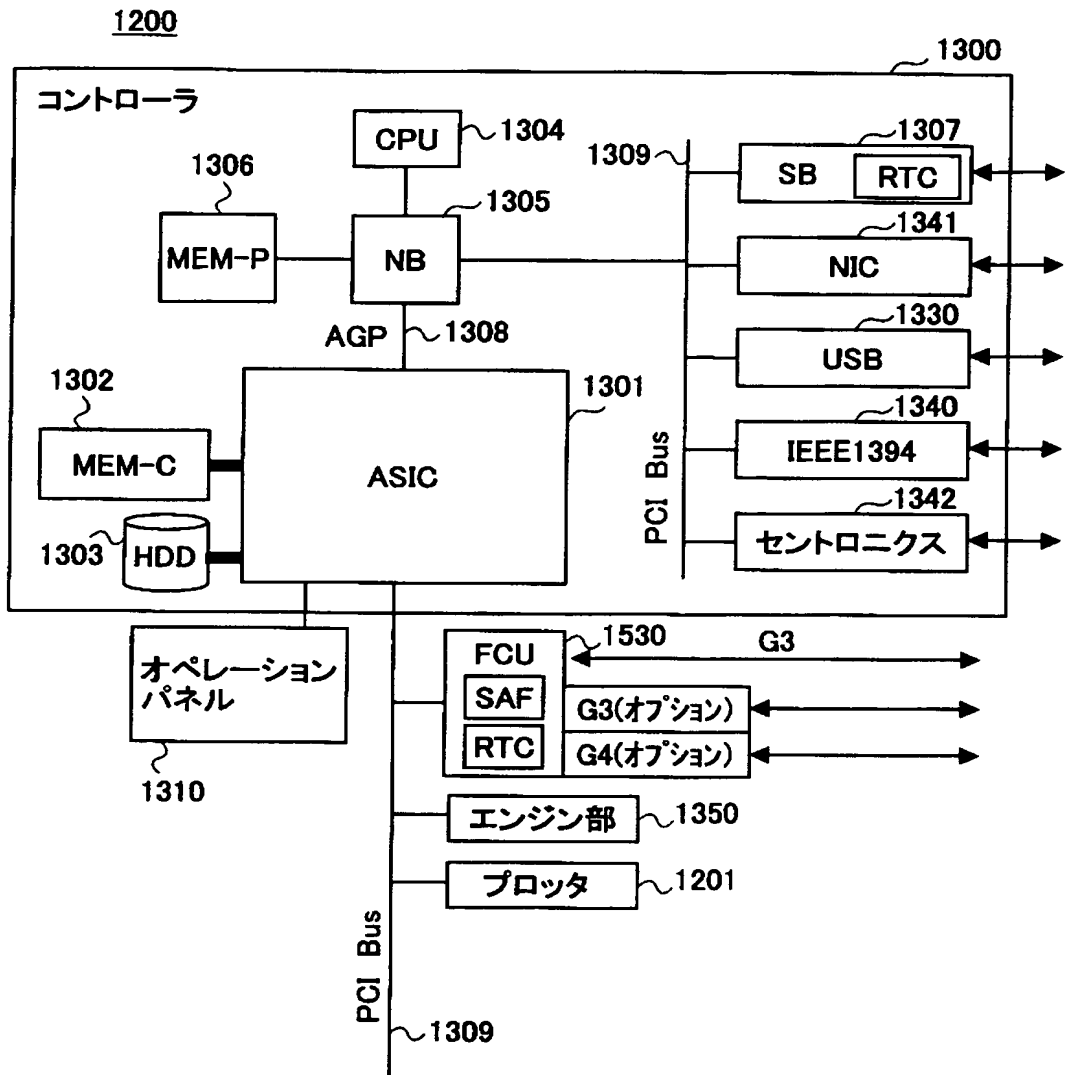
【図 30】

融合機に実装されたサービス情報提供部を示す図(その2)



【図 31】

融合機のハードウェア構成を示すブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザがサービスを選択する場合に必要とする情報を速やかに提供することを目的とする。

【解決手段】 ユーザが利用するサービスを提供するサービス提供手段を有するサービス提供装置であって、サービス提供手段は、ユーザ端末装置からのリクエストに応じて、ユーザがサービスを選択する場合に利用するサービスに係る情報を提供するサービス情報提供手段 50 を有することによって、上記課題を解決する。

【選択図】 図 7

特願 2 0 0 4 - 0 3 8 5 4 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 0 6 7 4 7 ]

1. 変更年月日	2 0 0 2 年 5 月 1 7 日
[変更理由]	住所変更
住 所	東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
氏 名	株式会社リコー